

参考付表

国民経済及び森林資源

1 林業関係基本指標

項目	単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
① 国内総生産	億円	5,267,060	5,241,328	5,003,539	4,914,085	4,949,572	5,031,756	5,138,760	5,319,858	5,384,458
林業	億円	1,723	1,343	1,902	2,022	1,847	2,006	2,143	2,051	2,063
林業/総生産	%	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
② 就業者総数	万人	6,446	6,356	6,257	5,977	6,270	6,311	6,351	6,376	6,440
林業	//	7	6	8	7	8	8	8	7	6
林業/総就業	%	0.11	0.09	0.13	0.12	0.13	0.13	0.13	0.11	0.09
③ 国土面積	万ha	3,779	3,779	3,779	3,779	3,779	3,779	3,779	3,780	3,780
④ 森林面積	//	2,515	2,512	2,510	2,510	2,508	2,508	2,508	2,508	2,508
森林/国土	%	67.5	67.4	67.3	67.3	67.3	67.3	67.3	67.3	67.3
⑤ 保安林面積	万ha	893	1,165	1,202	1,205	1,209	1,212	1,214	1,217	1,218
保安林/森林	%	35.5	46.4	47.9	48.0	48.2	48.3	48.4	48.5	48.6
⑥ 森林蓄積	億m ³	35	40	44	44	49	49	49	49	49
⑦ 木材需要(供給)量	万m ³	10,101	8,742	7,188	7,440	7,219	7,546	7,580	7,516	7,808
国内生産量	//	1,906	1,790	1,892	2,009	2,032	2,174	2,365	2,492	2,714
輸入量	//	8,195	6,952	5,296	5,431	5,187	5,372	5,215	5,024	5,094
木材自給率	%	18.9	20.5	26.3	27.0	28.1	28.8	31.2	33.2	34.8
⑧ 新設住宅着工戸数	万戸	123	124	81	83	88	98	89	91	97
木造率	%	45.2	43.9	56.6	55.7	55.1	56.1	54.9	55.5	56.5

注1：国土面積には北方四島の面積が含まれる。森林面積には北方四島の面積は含めていない。

2：森林/国土の割合における国土面積には、北方四島を含めていない。

3：保安林面積は、実面積の数値。

4：木材需要(供給)量、国内生産量及び輸入量は、丸太換算の数値。

資料：①内閣府「国民経済計算」、②総務省「労働力調査」(平成23年は岩手県、宮城県及び福島県を除く)、③国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」、

④⑤⑥林野庁業務資料、⑦林野庁「木材需給表」、⑧国土交通省「建築着工統計」

2 経済活動別国内総生産(名目)

(単位：十億円)

項目	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
国内総生産	526,706	524,133	500,354	491,409	494,957	503,176	513,876	531,986	538,446
農林水産業	8,090	5,898	5,515	5,285	5,651	5,556	5,428	5,907	6,194
林業	172	134	190	202	185	201	214	205	206
鉱業	611	414	304	313	281	311	327	315	291
製造業	118,815	113,448	104,239	96,639	97,663	97,799	101,394	110,223	113,337
電気・ガス・水道・廃棄物処理業	16,898	15,237	13,797	11,054	9,962	10,655	12,090	13,893	14,414
建設業	36,215	29,186	23,984	24,093	24,485	26,779	28,470	29,301	29,725
卸売・小売業	68,830	75,313	69,088	70,580	72,789	74,271	73,188	74,201	73,998
運輸・郵便業	25,643	26,573	25,231	24,497	25,250	25,366	26,752	27,122	26,963
宿泊・飲食サービス業	16,580	14,350	12,847	12,451	11,858	12,345	12,648	12,372	12,865
情報通信業	24,236	25,911	25,514	25,384	25,354	25,718	26,082	26,681	26,830
金融・保険業	25,637	31,192	24,115	23,110	22,442	23,055	22,808	23,187	22,462
不動産業	54,138	54,571	59,531	59,528	59,372	59,889	60,128	60,590	61,168
専門・科学技術、業務支援サービス業	30,291	33,394	34,940	35,682	35,546	36,513	37,144	38,354	39,256
公務	27,314	26,930	26,306	26,423	26,032	25,759	26,446	26,572	26,679
教育	19,003	18,620	18,247	18,520	18,487	18,377	18,861	19,205	19,430
保健衛生・社会事業	27,874	28,916	32,025	32,496	34,132	34,818	34,910	36,229	37,744
その他のサービス	27,353	25,700	23,454	22,904	23,056	22,891	23,251	23,351	22,937

資料：内閣府「国民経済計算」



3 林業産出額

(単位：千万円)

項目	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
林業産出額	53,115	41,705	42,243	41,941	39,499	43,004	46,182	45,208	46,624
木材生産	32,218	21,050	19,529	20,833	19,662	21,968	24,586	23,408	23,700
針葉樹	26,533	17,741	17,016	18,505	17,140	19,366	21,588	19,819	19,539
す	12,378	8,753	9,350	10,177	9,731	11,202	12,962	11,809	11,674
広葉樹	5,472	3,171	2,376	1,981	2,129	2,006	1,896	1,951	1,906
薪炭生産	616	609	508	506	439	553	566	531	549
栽培きのご類生産	19,689	19,850	21,891	20,472	19,315	20,373	20,902	21,098	22,205
林野副産物採取	592	196	315	129	83	110	128	171	171
生産林業所得	35,191	24,578	22,595	22,547	21,102	23,135	25,010	24,840	25,574

注：計の不一致は四捨五入による。
資料：農林水産省「林業産出額」

4 我が国の森林資源の現況

(単位：千ha、万㎡)

区分	総数		立木地				無立木地		竹林面積
	面積	蓄積	人工林		天然林		面積	蓄積	
			面積	蓄積	面積	蓄積			
総数	25,081	490,051	10,289	304,187	13,429	185,819	1,201	45	161
国有林	7,674	115,182	2,327	46,732	4,717	68,406	629	45	0
林野庁所管	7,610	114,620	2,321	46,603	4,667	67,972	623	45	0
国所有林	7,509	112,681	2,240	44,686	4,664	67,950	604	44	0
官行造林	93	1,939	81	1,917	2	22	9	0	0
対象外森林	9	0	0	0	0	0	9	0	0
その他省庁所管	64	562	6	128	51	434	7	0	0
民有林	17,407	374,869	7,962	257,456	8,712	117,413	572	0	161
公有林	2,919	55,770	1,287	35,030	1,495	20,740	131	0	6
都道府県	1,210	21,853	479	12,088	672	9,766	58	0	0
市町村・財産区	1,709	33,916	808	22,942	823	10,975	73	0	5
私有林	14,437	318,421	6,662	222,118	7,186	96,303	437	0	153
対象外森林	51	679	14	309	30	370	4	0	3

注1：森林法第2条第1項に規定する森林の数値。
2：「無立木地」は、伐採跡地、未立木地である。
3：更新困難地は天然林に含む。
4：対象外森林とは、森林法第5条に基づく地域森林計画及び同法第7条の2に基づく国有林の地域別の森林計画の対象となっている森林以外の森林をいう。
5：平成24(2012)年3月31日現在の数値。
6：計の不一致は四捨五入による。
資料：林野庁業務資料

5 都道府県別森林面積

(単位：千ha)

都道府県	総数	人工林	天然林	無立木地	竹林	都道府県	総数	人工林	天然林	無立木地	竹林
全国	25,081	10,289	13,429	1,201	161	三重	373	230	133	7	2
北海道	5,543	1,494	3,729	319	0	滋賀	204	85	112	6	1
青森	635	273	341	21	0	京都	343	131	201	5	6
岩手	1,172	495	611	66	0	大阪	58	28	26	2	2
宮城	418	200	203	13	2	兵庫	561	240	305	12	3
秋田	840	412	406	22	0	奈良	285	173	108	3	1
山形	669	186	438	44	0	和歌山	363	219	139	4	1
福島	975	343	582	50	1	鳥取	259	140	110	5	4
茨城	188	112	67	7	2	島根	526	206	298	10	11
栃木	350	156	180	13	1	岡山	484	201	267	11	5
群馬	424	178	219	25	1	広島	612	201	397	12	2
埼玉	121	60	60	1	0	山口	437	196	224	5	12
千葉	159	61	75	17	6	徳島	314	191	115	5	3
東京	79	35	39	5	0	香川	88	23	58	3	3
神奈川	95	36	54	4	1	愛媛	401	246	140	11	4
新潟	857	163	563	129	2	高知	597	390	196	7	5
富山	284	53	169	61	1	福岡	222	142	59	8	13
石川	286	102	165	17	2	佐賀	111	74	28	7	3
福井	312	125	177	8	1	長崎	243	105	124	10	3
山梨	348	153	172	21	1	熊本	464	281	150	23	10
長野	1,070	445	557	66	2	大分	453	237	176	27	14
岐阜	862	385	431	45	1	宮崎	590	351	219	14	6
静岡	501	283	189	25	4	鹿児島	584	294	259	15	16
愛知	219	141	72	3	2	沖縄	105	12	86	6	0

注1：森林法第2条第1項に規定する森林の数値。
2：「無立木地」は、伐採跡地、未立木地である。
3：平成24(2012)年3月31日現在の数値。
4：計の不一致は四捨五入による。
資料：林野庁業務資料

6 人工造林面積

(単位：ha)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
総	数	35,908	28,576	24,128	25,360	27,343	24,753	25,173	27,050
民 有 林	民 有 林 計	31,316	25,584	18,756	20,277	22,225	21,088	19,429	21,106
	私 営 計	15,292	14,325	12,041	12,999	13,638	12,531	12,775	13,908
	公 営 計	16,024	11,259	6,715	7,277	8,587	8,557	6,653	7,198
	公 森 林 整 備 法 人 等	2,193	464	282	175	151	147	167	245
	公 森 林 総 合 研 究 所	6,643	5,202	2,416	2,831	4,400	3,742	2,681	2,841
	公 市 町 村	2,832	1,950	1,551	1,595	1,617	1,519	1,867	1,960
	公 都 道 府 県	4,356	3,643	2,466	2,677	2,419	3,149	1,938	2,152
国 有 林	4,592	2,992	5,372	5,083	5,117	3,665	5,745	5,944	

注1：国有林には、林野庁所管以外の国有林は含まない。

2：森林整備法人等とは、森林整備法人及び林業会社である。

3：人工造林面積は、治山事業や自力等によるものを含む面積であり、育成複層林施業(人工林)における樹下植栽等(改良を除く)の面積も含まれている。

4：森林総合研究所によるものは、平成20(2008)年4月1日までは、独立行政法人緑資源機構によるものである。

5：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料

7 樹種別人工造林面積

(単位：ha)

	総 数	針 葉 樹					広 葉 樹
		スギ	ヒノキ	マツ類	カラマツ	その他	
H12 (2000)年	(31,316) 28,480	(8,223) 7,967	(11,574) 10,745	(233) 223	(2,524) 2,493	(4,954) 4,014	(3,808) 3,038
17 (05)	(25,584) 22,498	(5,216) 5,011	(7,096) 6,307	(226) 183	(3,534) 3,423	(5,728) 4,611	(3,784) 2,963
22 (10)	(18,756) 16,388	(4,132) 3,844	(2,820) 2,262	(247) 237	(4,604) 4,418	(4,265) 3,381	(2,688) 2,246
24 (12)	(20,277) 16,992	(4,648) 4,425	(2,643) 2,103	(245) 214	(5,155) 4,821	(4,687) 3,112	(2,897) 2,318
25 (13)	(22,225) 18,906	(5,429) 5,215	(2,780) 2,512	(330) 231	(5,099) 4,620	(5,811) 3,942	(2,777) 2,386
26 (14)	(21,088) 17,720	(5,185) 5,098	(2,543) 2,404	(554) 518	(4,603) 4,128	(5,709) 3,622	(2,492) 1,950
27 (15)	(19,429) 16,607	(5,537) 5,390	(2,039) 1,930	(185) 168	(4,467) 4,027	(5,250) 3,450	(1,950) 1,642
28 (16)	(21,106) 18,390	(6,766) 6,570	(1,972) 1,852	(291) 253	(5,017) 4,552	(4,983) 3,383	(2,077) 1,781

注1：民有林の樹種別人工造林面積であり、国有林は含まない。

2：上段()書きは、育成複層林施業における樹下植栽等を含む面積である。

資料：林野庁業務資料

8 人工林の齢級別面積

(単位：千 ha)

	1 齢 級	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
S60年 (1985)	604	895	1,263	1,691	1,762	1,569	947	337	240	205	178	137	111	83	148				
H元 (89)	436	700	943	1,351	1,691	1,746	1,413	777	270	224	183	151	118	93	79	52	62		
6 (94)	278	421	699	937	1,336	1,686	1,719	1,388	735	262	213	172	139	112	86	67	105		
13 (2001)	131	226	350	589	874	1,149	1,599	1,677	1,522	946	353	204	171	144	112	89	62	52	70
18 (06)	88	168	227	352	593	873	1,143	1,582	1,649	1,500	918	345	200	168	141	106	90	62	120
23 (11)	73	114	159	231	347	584	852	1,111	1,565	1,631	1,473	921	345	194	164	138	105	87	174

注1：数値は各年度末のものである。

2：昭和60(1985)年は15齢級を、平成元(1989)年、6(1994)年は17齢級を、平成13(2001)年、18(2006)年、23(2011)年は19齢級を最大齢級としており、それ以上の齢級は最大齢級にまとめている。

3：森林法第5条及び第7条の2に基づく森林計画対象森林の「立木地」の面積。

資料：林野庁業務資料



森林の整備及び保全

9 間伐実績及び間伐材の利用状況

	間伐実績 (千 ha)			間伐材利用量 (万㎡)					
	計	民有林	国有林	計	民有林				国有林
H19 (2007) 年度	521	395	126	537	344	214	47	83	193
20 (08)	548	434	114	566	368	226	39	103	198
21 (09)	585	446	140	637	423	257	48	118	214
22 (10)	556	445	110	665	443	270	42	131	222
24 (12)	488	368	121	759	521	300	36	186	238
25 (13)	521	400	121	811	565	323	44	197	246
26 (14)	465	339	126	769	521	291	33	197	247
27 (15)	452	341	112	813	565	297	35	232	248
28 (16)	440	319	121	810	571	291	30	250	239

- 注1：間伐実績は、森林吸収源対策の実績として把握した数値である。
 2：間伐材利用量は丸太材積に換算した量(推計値)である。
 3：製材とは、建築材、梱包材等である。
 4：丸太とは、足場丸太、支柱等である。
 5：原材料とは、木材チップ、おがくず等である。
 6：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料

(参考)

	民有林				
	間伐面積 (千 ha)	間伐材利用量 (万㎡)			
	計	製材	丸太	原材料	
H2 (1990) 年度	277	234	170	37	26
7 (95)	215	183	125	34	24
12 (2000)	304	274	195	41	38
15 (03)	312	283	185	50	48
16 (04)	277	284	184	45	55
17 (05)	281	284	181	41	62
18 (06)	282	324	196	48	80
19 (07)	395	344	214	47	83

- 注1：間伐材利用量は丸太材積に換算した量(推計値)である。
 2：製材とは、建築材、梱包材等である。
 3：丸太とは、足場丸太、支柱等である。
 4：原材料とは、木材チップ、おがくず等である。
 5：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料

10 林道開設(新設)量

(単位：km)

			H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
民有林 林道	補助 林道	一般林道	714	387	224	170	177	181	153	147
		道整備交付金 農 免	...	15	80	106	90	81	67	55
		森林総合研究所	39	13
		林業構造改善	54	6
		山村振興	8	1
		その他	14	1	0	0	0	0	0	0
		小 計	832	425	305	276	267	262	221	202
	県単独補助	199	76	29	14	12	11	13	12	
	計	1,031	501	334	290	279	273	234	214	
	融 資 林 道	0	0	
自 力 林 道	57	12	3	2	3	2	3	3		
合 計	1,088	513	337	292	282	275	238	217		
国 有 林 林 道	99	138	97	420	411	293	175	147		
総 計	1,187	651	434	712	693	568	413	364		
林道舗装実績	1,340	567	751	250	349	274	230	179		

- 注1：各年度末の新設延長。
 2：計の不一致は四捨五入による。
 3：森林総合研究所によるものは、平成20(2008)年4月1日までは、独立行政法人緑資源機構によるものである。

資料：林野庁業務資料

11 保安林の種類別面積

(単位：千 ha)

区 分	合 計	国有林	民有林
水源かん養保安林	9,195	5,702	3,494
土砂流出防備保安林	2,589	1,079	1,511
土砂崩壊防備保安林	60	20	40
飛砂防備保安林	16	4	12
防風保安林	56	23	33
水害防備保安林	1	0	1
潮害防備保安林	14	5	9
干害防備保安林	126	50	76
防雪保安林	0	0	0
防霧保安林	62	9	53
なだれ防止保安林	19	5	14
落石防止保安林	2	0	2
防火保安林	0	0	0
魚つき保安林	60	8	52
航行目標保安林	1	1	0
保健保安林	701	357	344
風致保安林	28	13	15
合 計	12,931	7,275	5,656
(実面積)	12,184	6,919	5,265

注1：平成29(2017)年3月31日現在の数値。
 注2：同一箇所で2種類以上の保安林に指定されている場合、それぞれの保安林に計上している。
 注3：国有林には、林野庁所管以外の国有林を含む。
 注4：計の不一致は四捨五入による。
 資料：林野庁業務資料

12 気象災害、林野火災

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
気象災害	被害面積 (ha)	14,645	2,516	2,087	1,227	7,023	4,831	5,686	14,575
	風害	3,402	364	23	249	5,322	326	3,858	12,879
	水害	2,633	526	208	67	176	79	39	482
	雪害	1,863	920	1,440	222	584	3,095	1,414	383
	干害	6,161	656	342	202	872	1,063	319	155
	凍害	585	48	73	486	69	243	57	676
	潮・雹害	…	3	…	1	…	25	…	…
林野火災	出火件数 (件)	2,805	2,215	1,392	1,178	2,020	1,494	1,106	1,027
	焼損面積 (ha)	1,455	1,116	755	372	971	1,062	538	384
	被害額 (億円)	7	9	1	2	2	14	3	2

注1：気象災害は、私・公有林の被害である。
 注2：林野火災は、私・公、国有林(林野庁所管外も含む。)の被害である。
 資料：林野庁業務資料、消防庁業務統計

13 森林保険事業実績

	年度末契約保有高			損害補填補償額			
	件数 (件)	面積 (千 ha)	責任保険金額 (百万円)	件数 (件)	面積 (ha)	損害額 (百万円)	支払額 (百万円)
H12 (2000) 年度	137,479	1,203	863,007	7,884	2,502	3,587	1,374
17 (05)	184,670	1,296	1,345,535	7,543	2,161	3,622	2,246
22 (10)	135,861	969	965,327	2,419	611	938	456
24 (12)	128,980	907	935,819	3,229	1,032	2,108	783
25 (13)	121,646	847	896,369	2,480	1,197	2,175	767
26 (14)	131,390	787	852,741	2,143	1,184	2,133	974
27 (15)	108,859	742	807,708	1,956	872	1,508	587
28 (16)	102,161	704	769,831	2,077	876	1,709	737

注：平成26(2014)年度までは森林国営保険によるもの、平成27(2015)年度以降は国立研究開発法人森林研究・整備機構(平成27(2015)年度及び平成28(2016)年度は、国立研究開発法人森林総合研究所)が行う森林保険によるものである。
 資料：平成26(2014)年度までは林野庁業務資料、平成27(2015)年度以降は国立研究開発法人森林研究・整備機構(平成27(2015)年度及び平成28(2016)年度は、国立研究開発法人森林総合研究所)調べ。

14 野生動物による森林被害

(単位：千 ha)

	合計	サル	ノネズミ	ノウサギ	カモシカ	シカ	イノシシ	クマ
H12 (2000)年度	8.2	0.7	0.3	0.6	1.0	4.6	0.5	0.6
17 (05)	5.8	0.0	0.3	0.3	0.8	3.5	0.4	0.4
22 (10)	6.2	0.0	0.4	0.1	0.3	4.0	0.2	1.2
24 (12)	9.1	0.0	1.2	0.1	0.5	6.5	0.2	0.6
25 (13)	9.0	0.0	0.8	0.1	0.4	6.8	0.1	0.8
26 (14)	8.9	0.0	0.6	0.1	0.4	7.1	0.1	0.7
27 (15)	7.9	0.0	0.7	0.1	0.3	6.0	0.1	0.7
28 (16)	7.1	0.0	0.5	0.1	0.3	5.6	0.1	0.6

注1：国有林(林野庁所管)、民有林の合計。
 注2：森林および苗畑の被害。
 注3：東日本大震災の影響により、平成22(2010)年度については未計上の県がある。
 資料：林野庁業務資料



15 松くい虫被害量（材積）

（単位：千㎡）

	S52年度 (1977)	54 (79)	57 (82)	62 (87)	H4 (92)	9 (97)	14 (2002)	19 (07)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
被害材積	809	2,433	1,467	1,140	1,126	811	915	619	643	627	561	481	440

注1：国有林(林野庁所管)、民有林の合計。

2：平成23(2011)～28(2016)年度については、原発事故に伴い福島県内の把握不可能な市町村については、除外等している。

資料：林野庁業務資料

16 ナラ枯れ被害量（材積）

（単位：千㎡）

	H15年度 (2003)	20 (08)	21 (09)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
被害材積	51	133	230	325	157	83	52	41	83	82

注1：国有林(林野庁所管)、民有林の合計。

2：東日本大震災の影響により、平成22(2010)年度については未計上の県がある。

3：平成23(2011)～28(2016)年度については、原発事故に伴い福島県内の把握不可能な市町村については、除外等している。

資料：林野庁業務資料

17 森林・林業に関する専門技術者

（単位：人）

	H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	29 (17)
技術士（森林部門）	555	711	960	1,131	1,187	1,260	1,279	1,377
林業技士	8,024	9,322	11,341	12,430	12,726	12,983	13,240	13,448
森林総合監理士	…	…	…	…	461	717	982	1,169
森林インストラクター	1,132	2,261	2,926	3,087	3,092	3,104	3,099	3,094
樹木医	778	1,332	1,909	2,247	2,356	2,464	2,562	2,661

注1：技術士(森林部門)：技術士法に基づく資格(21部門のうち森林部門)を有し、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者。平成29(2017)年度は、平成29(2017)年12月末現在の数値。

2：林業技士：一般社団法人日本森林技術協会が認定する資格を有し、森林土木等の技術的業務に関する専門知識の実践を行う者。平成29(2017)年度は、平成29(2017)年4月1日現在の数値。

3：森林総合監理士：林業普及指導員資格試験の地域森林総合監理区分に合格し、市町村等へ技術的支援を行う者。平成29(2017)年度は、平成30(2018)年3月末現在の数値。

4：森林インストラクター：一般社団法人全国森林レクリエーション協会が認定する資格を有し、一般の人々に、森林や林業に関する知識の提供、森林の案内、森林内の野外活動の指導等を行う者。平成28(2016)年度は、平成29(2017)年2月末現在の数値。

5：樹木医：一般財団法人日本緑化センターが認定する資格を有し、「ふるさとのシンボル」として親しまれている巨樹・古木林等の保護や樹勢回復・治療等を行う者。平成29(2017)年度は、平成29(2017)年12月末現在の数値。

資料：林野庁業務資料、技術士は公益社団法人日本技術士会、林業技士は一般社団法人日本森林技術協会調べ。

18 林業普及指導職員等の数

（単位：人）

	H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	29 (17)
林業専門技術員(SP)	336	…	…	…	…	…	…	…
林業改良指導員(AG)	1,862	…	…	…	…	…	…	…
林業普及指導員	…	1,811	1,398	1,350	1,324	1,304	1,310	1,287
計	2,198	1,811	1,398	1,350	1,324	1,304	1,310	1,287

注：平成17(2005)年度の制度改正により、林業専門技術員と林業改良指導員の2つの資格を「林業普及指導員」に一元化している。

資料：林野庁業務資料

19 森林・林業関係の教育機関数

区分	学校数
森林・林業関係学科(科目)をもつ 高等学校	73
森林・林業関係学科(科目)をもつ 大学(うち国立大学)	28
森林・林業関係学科(科目)をもつ 都道府県立農林大学校等	17

注：平成29(2017)年4月現在の数値。

資料：林野庁業務資料

林業

20 所有形態別林野面積（民有）

		H27(2015)年	
		所有林野面積 (ha)	比率 (%)
総	数	17,626,113	100.0
私	有	13,565,022	77.0
公	有	3,368,731	19.1
	都道府県	1,271,529	7.2
	森林整備法人	391,189	2.2
	市区町村	1,404,456	8.0
	財産区	301,557	1.7
独立行政法人等		692,360	3.9

注1：計の不一致は四捨五入による。
 2：独立行政法人等とは、独立行政法人、国立大学法人、特殊法人が所有しているものである。
 資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

21 林業経営体数及び保有山林面積

(単位：経営体、ha)

	数	合計		3ha未満		3～5ha		5～20ha		20～50ha		50～100ha		100ha以上	
		経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
総	数	87,284	4,373,374	(1,257)	1,170	23,767	85,988	41,885	389,986	12,193	348,521	3,572	235,747	3,620	3,311,962
法人経営		5,599	1,470,626	1,065	237	397	1,495	1,315	14,029	894	27,849	658	45,473	1,270	1,381,544
	農事組合法人	145	9,226	10	1	16	60	50	472	23	650	17	1,176	29	6,868
	会社	2,456	774,282	707	144	193	706	538	5,481	333	9,838	196	12,829	489	745,285
	各種団体	2,337	497,968	304	85	109	425	480	5,559	448	14,529	379	26,598	617	450,772
	農協	87	19,669	4	16	9	101	21	779	14	1,041	39	17,732
	森林組合	1,819	304,008	263	83	74	287	342	4,083	341	11,085	317	22,336	482	266,135
	その他の各種団体	431	174,291	41	2	31	123	129	1,376	86	2,665	48	3,221	96	166,905
	その他の法人	661	189,150	44	7	79	304	247	2,518	90	2,832	66	4,871	135	178,619
法人でない経営		80,396	1,349,519	1,181	933	23,329	84,334	40,417	374,113	11,129	315,103	2,768	180,050	1,572	394,985
個人経営体		77,692	1,215,213	1,073	901	22,922	82,773	39,327	362,792	10,575	298,201	2,494	160,726	1,301	309,821
地方公共団体・財産区		1,289	1,553,229	1	...	41	159	153	1,844	170	5,570	146	10,224	778	1,535,432

注1：()は保有山林のない経営体数で内数。
 2：林業経営体とは、①保有山林面積が3ha以上かつ過去5年間に林業作業を行うか森林経営計画又は森林施業計画を作成している、②委託を受けて育林を行っている、③委託や立木の購入により過去1年間に200㎡以上の素材生産を行っている、のいずれかに該当する者である。
 資料：農林水産省「2015年農林業センサス」

22 林業経営体（林家）の林業経営

項目	単位	H16年度 (2004) 平均	17 (05) 平均	18 (06) 平均	19 (07) 平均	20 (08) 平均	25 (13) 平均	保有山林規模別 (ha)			
								20-50	50-100	100-500	500-
林業粗収益	千円	2,497	2,396	2,603	1,904	1,784	2,484	2,773	1,742	3,198	9,346
立木販売収入	//	300	266	409	275	206	233	228	199	342	...
素材生産収入	//	1,786	1,667	1,635	1,246	1,041	1,744	1,806	1,110	2,417	9,039
その他	//	412	464	559	383	537	507	739	433	439	307
林業経営費	千円	2,081	2,109	2,125	1,613	1,681	2,371	2,013	1,652	3,309	13,851
雇用労賃	//	379	339	345	270	300	300	256	149	473	2,636
原木費	//	230	248	308	125	130	112	157	98	103	...
機械修繕費	//	201	208	209	117	169	279	414	184	272	1,073
賃借料・料金	//	202	195	194	174	150	192	126	131	382	415
請負わせ料金	//	613	707	626	539	557	982	529	710	1,496	7,322
その他	//	455	409	443	389	375	506	531	380	583	2,405
林業所得	千円	417	287	478	291	103	113	760	90	▲111	▲4,505
投下労働量	時間	698	609	632	571	536	645	820	480	702	1,939
家族	//	496	426	447	422	380	447	645	373	424	195
雇用労働	//	202	183	185	149	156	198	175	107	278	1,744

注1：保有山林面積50ha以上で林木に係る施業を行っている林家、又は保有山林面積が20ha以上50ha未満で、過去1年間の林木に係る施業労働日数が30日以上
 林業経営体(林家)1経営体(1戸)当たりの平均値。
 2：林業粗収益=現金収入+林産物の林業外仕向額+林産物の在庫増加(減少)額
 3：林業粗収益のその他とは、特用林産物収入や受託収入等である。
 4：林業経営費=現金支出+減価償却費+処分差損益+生産資材の在庫減少(増加)額
 5：雇用労賃には、労働災害保険を含む。
 6：林業経営費のその他とは、種苗費、肥料費、薬剤費、諸材料費、器具費、建物維持費、企画管理費、負債利子、租税公課諸負担等である。
 7：林業所得=林業粗収益-林業経営費
 8：計の不一致は四捨五入による。
 9：平成19(2007)年度・20(2008)年度の結果のうち、減価償却費については、平成19(2007)年度税制改正における減価償却計算の見直しを踏まえ以下のとおり算出した。
 (1) 平成19(2007)年3月31日以前に取得した資産
 ア 償却中の資産：1か年の減価償却費=(取得価額-残存価額)÷耐用年数
 イ 償却済みの資産：1か年の減価償却費=(取得価額-1円(備忘価額))÷5年
 (2) 平成19(2007)年4月1日以降に取得した資産
 1か年の減価償却費=(取得価額-1円(備忘価額))÷耐用年数資料：農林水産省「林業経営統計調査報告」
 資料：農林水産省「林業経営統計調査報告」



23 林業機械の普及台数

(単位：台)

		H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	対前年 増減率(%)
高性能林業機械	フェラーバンチャ	42	25	85	113	123	143	145	156	7.6
	ハーベスタ	379	442	836	1,075	1,174	1,357	1,521	1,572	3.4
	プロセッサ	854	1,002	1,312	1,451	1,484	1,671	1,802	1,851	2.7
	スキップダ	164	163	141	148	142	131	126	118	▲6.3
	フォワード	509	722	1,213	1,513	1,724	1,957	2,171	2,328	7.2
	タワーヤダ	190	174	148	143	149	144	152	151	▲0.7
	スイングヤダ	134	340	708	810	851	950	959	1,012	5.5
	その他の高性能林業機械	13	41	228	425	581	736	810	1,014	25.2
小計	2,285	2,909	4,671	5,678	6,228	7,089	7,686	8,202	6.7	
在来型林業機械	大型集材機	8,013	6,009	5,042	4,820	4,613	4,241	3,951	3,774	▲4.5
	小型集材機	7,525	5,460	4,276	3,995	3,718	3,397	3,103	2,893	▲6.8
	チェーンソー	300,300	245,998	211,869	201,364	191,856	181,439	170,361	157,197	▲7.7
	刈払機	350,765	298,718	243,468	226,435	215,719	207,623	186,528	167,232	▲10.3
	トラクタ	3,290	2,630	2,039	1,906	1,719	1,630	1,486	1,460	▲1.7
	運材車	22,238	18,083	14,024	13,511	12,620	12,152	11,477	10,750	▲6.3
	モノレール	981	859	793	744	716	688	657	578	▲12.0
	動力枝打機	12,695	10,077	7,465	6,992	6,950	6,064	5,182	4,725	▲8.8
自走式搬器	1,991	1,757	1,563	1,513	1,448	1,384	1,342	1,240	▲7.6	

注1：国有林野事業で所有する林業機械を除く。

2：平成7(1995)年度以前のタワーヤダの台数は、スイングヤダ(油圧ショベルをベースマシンに集材用ウインチを搭載した機械)を含む。

3：平成12(2000)年度より、ハイブリッド機械、フェラースキップダ、下刈機等従来の高性能林業機械以外の高性能林業機械を「その他の高性能林業機械」として項目に追加した。

資料：林野庁業務資料

24 総人口及び就業者数

(単位：万人)

	総人口	就業者数				うち雇用者数				
		全産業 総数	農林業	うち 林業	非農林業	全産業 総数	農林業	うち 林業	非農林業	うち 製造業
H12(2000)年	12,688	6,446	297	7	6,150	5,356	34	4	5,322	1,205
17(05)	12,766	6,356	259	6	6,097	5,393	36	4	5,356	1,059
22(10)	12,739	6,257	234	8	6,023	5,463	53	6	5,410	996
24(12)	12,757	6,270	224	8	6,046	5,504	52	7	5,452	980
25(13)	12,731	6,311	217	8	6,094	5,553	52	7	5,501	989
26(14)	12,710	6,351	209	8	6,142	5,595	53	7	5,542	987
27(15)	12,689	6,376	208	7	6,168	5,640	53	6	5,587	984
28(16)	12,675	6,440	202	6	6,238	5,729	54	5	5,674	996

注1：日本標準産業分類の改訂に伴い、平成15(2003)年以降の製造業の結果は平成14(2002)年以前の結果と時系列接続していない。

2：平成23(2011)年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国結果。

3：表章単位未満の位で四捨五入してある。また、総数に分類不能又は不詳の数を含むため、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。

資料：総務省「労働力調査年報」

25 産業別、年齢階層別就業者数

(単位：万人)

	総数	15歳～ 19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65歳 以上
全産業	6,440	99	420	539	586	660	811	774	665	600	519	767
農業	196	1	4	6	8	8	10	11	12	16	26	96
林業	6	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	1
鉱業、採石業、砂利採取業	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	492	5	22	29	38	53	69	61	49	47	52	68
製造業	1,041	11	59	92	100	116	145	139	116	97	76	88
その他	4,702	82	335	412	439	483	586	562	488	439	364	514

注1：平成28(2016)年の平均値。

2：表章単位未満の位で四捨五入してある。また、総数に分類不能又は不詳の数を含むため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

資料：総務省「労働力調査年報」(平成28(2016)年)

26 林業への新規就業者の就業先

(単位：人)

	H12年度 (2000)	17 (05)	21 (09)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
総数	2,314	2,843	3,941	4,014	3,190	2,827	3,033	3,204	3,064
民間事業体	864	1,149	2,024	2,296	1,972	1,764	1,944	2,005	896
森林組合	1,450	1,694	1,917	1,718	1,218	1,063	1,089	1,199	2,168

資料：林野庁業務資料

27 林業労働者の賃金

(単位：円/日)

	H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
造林	12,082	11,795	11,728	11,731	12,081	12,260	12,237	12,591
伐出	13,648	13,119	12,921	12,827	12,968	13,196	13,197	13,442

注：全国農業会議所が作成した調査票に基づき、都道府県農業会議の指導の下、市町村農業委員会が行った調査であり、農外諸賃金のうち都道府県別平均の造林(新植、撫育作業)、伐出を抜粋したものである。

資料：全国農業会議所「農作業料金・農業労賃に関する調査結果」

28 労働災害の発生率

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
死傷年千人率	全産業	2.8	2.4	2.1	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2
	林業	28.7	26.8	28.6	31.6	28.7	26.9	27.0	31.2
	木材・木製品製造業	11.6	9.9	7.4	13.1	11.4	12.3	11.2	11.0
	建設業	6.3	5.8	4.9	5.0	5.0	5.0	4.6	4.5
	製造業	3.6	3.3	2.6	3.0	2.8	2.9	2.8	2.7
	鉱業	17.6	18.8	13.9	9.9	12.0	8.1	7.0	9.2

注：死傷年千人率とは、1,000人当たり1年間に発生する労働災害による死傷者数(休業4日以上)を表したものである。

(死傷年千人率 = 1年間の死傷者数(休業4日以上) ÷ 1年間の平均労働者数 × 1,000)

平成24(2012)年より千人率の計算に用いる資料が「労働者災害補償保険事業年報」及び「労災保険給付データ」から「労働者死傷病報告書」及び「労働力調査」に変更されている。

資料：厚生労働省ホームページ「職場のあんぜんサイト」

29 森林組合の事業活動等

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	対前年 増減率(%)
森林組合数(A)		1,174	846	679	660	644	631	629	624	▲ 0.3
組合員数(千人)		1,669	1,618	1,567	1,555	1,546	1,537	1,531	1,525	▲ 0.4
1組合当たり払込済出資金(千円)		42,133	61,261	78,418	80,801	83,647	86,006	86,286	87,345	0.3
主要事業量	新植面積(ha)	25,648	18,818	15,268	15,203	14,751	15,032	15,323	15,085	1.9
	丸太生産量(千m)	2,835	2,818	3,612	4,109	4,520	4,946	5,430	5,670	9.8
作業班	設置組合数(B)	939	737
	(B) ÷ (A) (%)	79	80

資料：林野庁「森林組合統計」

30 森林組合の主要事業別の取扱高

(単位：百万円)

	販売・林産	加工	購買	森林造成	その他	合計
H12(2000)年度	77,555	40,441	16,434	167,376	40,325	342,131
17(05)	57,190	34,290	12,221	111,287	40,685	255,673
22(10)	67,371	32,988	10,832	114,020	45,447	270,659
23(11)	70,774	33,462	10,741	106,668	42,655	264,300
24(12)	69,310	31,401	10,869	94,450	40,327	246,357
25(13)	81,140	36,245	10,898	99,007	42,147	269,437
26(14)	90,090	34,937	9,906	100,470	42,382	277,785
27(15)	91,289	33,848	9,183	94,954	39,368	270,351
28(16)	95,211	35,190	9,010	90,220	40,743	270,374

資料：林野庁「森林組合統計」



林産物

31 丸太生産量

(単位：千m³、%)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	対前年 増減率(%)	
総数		17,034	16,166	17,193	18,479	19,646	19,916	20,049	20,660	3.0	
樹種別	針葉	13,707 (80)	13,695 (85)	14,789 (86)	16,062 (87)	17,246 (88)	17,743 (89)	17,815 (89)	18,470 (89)	3.7	
	スギ	うち、製材用	7,671	7,756	9,049	9,956	10,902	11,194	11,226	11,848	5.5
		その他	7,258 (57)	6,737 (58)	6,695 (63)	7,295 (64)	7,825 (65)	7,872 (64)	7,869 (66)	8,095 (66)	2.9
	広葉樹	ヒノキ	2,273	2,014	2,029	2,165	2,300	2,395	2,364	2,460	4.1
		アカマツ・クロマツ	1,034	783	689	661	624	674	779	678	▲13.0
		カラマツ・エゾマツ・トドマツ	2,410	2,910	2,821	3,098	3,275	3,327	3,268	3,325	1.7
	その他	319	232	201	182	145	153	170	153	▲10.0	
広葉樹	3,327 (57)	2,471 (15)	2,404 (14)	2,417 (13)	2,400 (12)	2,173 (11)	2,236 (11)	2,188 (11)	2,188 (11)	▲2.1	
用途別	製材	12,798 (75)	11,571 (72)	10,582 (62)	11,321 (61)	12,058 (61)	12,211 (61)	12,004 (60)	12,182 (59)	1.5	
	合板	138 (1)	863 (5)	2,490 (14)	2,602 (14)	3,016 (15)	3,191 (16)	3,356 (17)	3,682 (18)	9.7	
	木材チップ	4,098 (24)	3,732 (23)	4,121 (24)	4,556 (25)	4,572 (23)	4,514 (23)	4,689 (23)	4,796 (23)	2.3	

注1：()は総数に対する割合。

2：< >は製材用に対する割合。

3：生産量には、林地残材は含まれていない。

4：総数は製材用、合板用、木材チップ用の計である。なお、「木材需給報告書」の平成12(2000)年の丸太生産量にはパルプ用及びその他用が含まれており、これを除いて掲載した。

5：計の不一致は四捨五入による。

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成12(2000)～28(2016)年)

32 木材需給表(丸太換算)

(単位：千m³)

供給	需要	総需要量							国内消費							輸出																
		計	用材					燃料材	計	用材					燃料材	計	用材					燃料材										
			小計	製材用材	パルプ用材	合板用材	その他用材			しいたけ原木	小計	製材用材	パルプ用材	合板用材			その他用材	しいたけ原木	小計	製材用材	パルプ用材		合板用材	その他用材	小計	製材用材	パルプ用材	合板用材	その他用材	しいたけ原木	燃料用チップ	等燃料用チップ
供給量	計	(19,341)	(6,853)	(6,853)	75,960	69,830	26,012	30,480	10,085	3,253	328	(12,488)	5,802	948	52	4,803	2,117	2,112	138	1,139	163	672	5	5	0	0	0	0				
	丸太	(6,853)	(6,853)	(6,853)	25,083	25,083	16,044	3,952	4,708	378						2,112	2,112	138	1,139	163	672											
	林地残材	180	180	180			180																									
	輸入木材製品	44,567	44,567	9,968	26,348	5,377	2,874					44,567	44,567	9,968	26,348	5,377	2,874															
	しいたけ原木	328					328				328																					
燃料材	(12,488)	5,807				(12,488)	5,807				(12,488)	5,802	948	52	4,803	5						5	5	0	0	0	0	0				
国内生産	計	27,141	22,955	12,182	5,266	3,876	1,031	328	4,458	25,027	20,247	12,044	4,127	3,716	359	328	4,452	72	51	4,329	2,114	2,109	138	1,139	160	672	5	5	0	0		
	丸太	22,175	22,175	12,182	5,086	3,876	1,031			20,067	20,067	12,044	3,947	3,716	359						2,109	2,109	138	1,139	160	672						
	林地残材	180	180	180						180	180	180																				
	しいたけ原木	328					328			328					328																	
	燃料材	4,458						4,458	4,452						4,452	72	51	4,329	5				5	5	0	0	0	0	0	0		
輸入	計	50,936	49,686	13,968	26,353	6,372	2,894	1,350	50,933	49,683	13,968	26,353	6,369	2,894	1,350	875	1	474				3	3	0	3							
	丸太	5,019	5,019	4,000	5	995	19		5,016	5,016	4,000	5	992	19								3	3	0	3							
	小計	44,567	44,567	9,968	26,348	5,377	2,874		44,567	44,567	9,968	26,348	5,377	2,874																		
	製材用材	9,968	9,968	9,968					9,968	9,968	9,968																					
	木材パルプ	5,393	5,393		5,393				5,393	5,393		5,393																				
	木材チップ	20,955	20,955		20,955				20,955	20,955		20,955																				
	合板等	5,377	5,377		5,377				5,377	5,377		5,377																				
その他	2,874	2,874				2,874		2,874	2,874		2,874																					
燃料材	1,350					1,350	1,350							1,350	875	1	474															

注1：大角・盤等の輸入半製品については、「輸入」の「製材用材」に含めた。

2：パルプ・チップ用材及び燃料用チップ等用材の()書は、工場残材及び解体材・廃材から生産された木材チップ等であり、製材用材、合板用材、その他用材に含まれるので、「総需要量」及び「国内消費」の「用材小計」には含めていない。

3：その他用材は、構造用集成材・加工材・枕木・電柱・くい丸太・足場丸太等。

4：「林地残材」とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に工場に搬入されたものである。

5：平成20(2008)年から貿易統計の4421その他の木製品の項目に木製パネルの一部(4421.90.991)が追加されたことから、輸入のその他に計上している。

6：国内の丸太等から生産されたベレットについては、国内生産の燃料材に計上している。

7：計の不一致は四捨五入による。

8：平成26(2014)年から木質バイオマス発電施設等においてエネルギー利用された燃料用チップを新たに計上し、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更。

資料：林野庁「木材需給表」(平成28(2016)年)

33 木材需要（供給）量（丸太換算）

(単位：千m)

	総需要 (供給)量	用材	燃料材	しいたけ 原木	用材部門別				用材供給先別			木材 自給率 (%)
					製材用	バルブ・ チップ用	合板用	その他用	国産材	輸入丸太	輸入製品	
S30 (1955)年	65,206	45,278	19,928	...	30,295	8,285	2,297	4,401	42,794	1,969	515	96.1
35 (60)	71,467	56,547	14,920	...	37,789	10,189	3,178	5,391	49,006	6,674	867	89.2
40 (65)	76,798	70,530	6,268	...	47,084	14,335	5,187	3,924	50,375	16,721	3,434	73.7
45 (70)	106,601	102,679	2,348	1,574	62,009	24,887	13,059	2,724	46,241	43,281	13,157	46.7
50 (75)	99,303	96,369	1,132	1,802	55,341	27,298	11,173	2,557	34,577	42,681	19,111	37.4
55 (80)	112,211	108,964	1,200	2,047	56,713	35,868	12,840	3,543	34,557	42,395	32,012	32.9
60 (85)	95,447	92,901	572	1,974	44,539	32,915	11,217	4,230	33,074	31,391	28,436	37.1
H2 (90)	113,242	111,162	517	1,563	53,887	41,344	14,546	1,385	29,369	33,861	47,932	27.6
7 (95)	113,698	111,922	721	1,055	50,384	44,922	14,314	2,302	22,916	25,865	63,141	21.4
12 (2000)	101,006	99,263	940	803	40,946	42,186	13,825	2,306	18,022	18,018	63,223	18.9
17 (05)	87,423	85,857	1,001	565	32,901	37,608	12,586	2,763	17,176	12,119	56,562	20.5
22 (10)	71,884	70,253	1,099	532	25,379	32,350	9,556	2,968	18,236	6,044	45,974	26.3
24 (12)	72,189	70,633	1,119	437	26,053	31,010	10,294	3,275	19,686	5,634	45,312	28.1
25 (13)	75,459	73,867	1,204	388	28,592	30,353	11,232	3,690	21,117	5,970	46,780	28.8
26 (14)	75,799	72,547	2,940	313	26,139	31,433	11,144	3,830	21,492	5,342	45,712	31.2
27 (15)	75,160	70,883	3,962	315	25,358	31,783	9,914	3,829	21,797	4,824	44,262	33.2
28 (16)	78,077	71,942	5,807	328	26,150	31,619	10,248	3,925	22,355	5,019	44,567	34.8

注1：需要(供給)量は、丸太の需要(供給)量と輸入した製材品、合板、バルブ・チップ等の製品を丸太材積に換算した需要(供給)量とを合計したもの。
 2：その他用は、構造用集成材・加工材・枕木・電柱・くい丸太・足場丸太等。
 3：木材自給率は、国産材木材供給量÷総木材供給量×100 で算出しており、18.8%(H14)がボトムとなっている。
 4：計の不一致は四捨五入による。
 5：平成26(2014)年から木質バイオマス発電施設等においてエネルギー利用された燃料用チップを新たに計上し、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更。
 資料：林野庁「木材需給表」

34 国産材・外材別の木材需要（供給）量（丸太換算）

(単位：千m)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	対前年 増減率(%)	
総需要(供給)量		101,006	87,423	71,884	72,189	75,459	75,799	75,160	78,077	3.9	
用材		99,263	85,857	70,253	70,633	73,867	72,547	70,883	71,942	1.5	
燃料材		940	1,001	1,099	1,119	1,204	2,940	3,962	5,807	46.6	
しいたけ原木		803	565	532	437	388	313	315	328	4.1	
用材部門別	小計	99,263	85,857	70,253	70,633	73,867	72,547	70,883	71,942	1.5	
	国産材	18,022	17,176	18,236	19,686	21,117	21,492	21,797	22,355	2.6	
	外材	81,241	68,681	52,018	50,947	52,750	51,054	49,086	49,586	1.0	
	自給率(%)	18.2	20.0	26.0	27.9	28.6	29.6	30.8	31.1	0.3	
	製材用	小計	40,946	32,901	25,379	26,053	28,592	26,139	25,358	26,150	3.1
	国産材	12,798	11,571	10,582	11,321	12,058	12,211	12,004	12,182	1.5	
	外材	28,148	21,330	14,797	14,732	16,534	13,928	13,354	13,968	4.6	
	自給率(%)	31.3	35.2	41.7	43.5	42.2	46.7	47.3	46.6	▲0.7	
	バルブ・チップ用	小計	(6,537)	(7,974)	(6,192)	(6,708)	(7,972)	(6,922)	(6,667)	(6,853)	2.8
	国産材	42,186	37,608	32,350	31,010	30,353	31,433	31,783	31,619	▲0.5	
	外材	4,749	4,426	4,785	5,309	5,177	5,047	5,202	5,266	1.2	
	自給率(%)	37.437	33.181	27.565	25.702	25.176	26.386	26.581	26.353	▲0.9	
	自給率(%)	11.3	11.8	14.8	17.1	17.1	16.1	16.4	16.7	0.3	
	合板用	小計	13,825	12,586	9,556	10,294	11,232	11,144	9,914	10,248	3.4
	国産材	138	863	2,490	2,602	3,255	3,346	3,530	3,876	9.8	
	外材	13,687	11,723	7,066	7,692	7,977	7,798	6,384	6,372	▲0.2	
	自給率(%)	1.0	6.9	26.1	25.3	29.0	30.0	35.6	37.8	2.2	
	その他用	小計	2,306	2,763	2,968	3,275	3,690	3,830	3,829	3,925	2.5
国産材	337	316	379	454	627	889	1,061	1,031	▲2.8		
外材	1,969	2,447	2,589	2,821	3,063	2,942	2,767	2,894	4.6		
自給率(%)	14.6	11.4	12.8	13.9	17.0	23.2	27.7	26.3	▲1.4		

注1：需要(供給)量は、丸太の需要(供給)量と輸入した製材品、合板、チップ・バルブ等の製品を丸太材積に換算した需要(供給)量とを合計したもの。
 2：自給率=各部門別の国産材用材供給量÷総用材供給量×100
 3：その他用は、構造用集成材・加工材・枕木・電柱・くい丸太・足場丸太等。
 4：()は、製材工場等の残材及び解体材・廃材による木材チップで、外書。
 5：計の不一致は四捨五入による。
 6：平成26(2014)年から木質バイオマス発電施設等においてエネルギー利用された燃料用チップを新たに計上し、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更。
 7：対前年増減率のうち、自給率における数値は、前年との差である。
 資料：林野庁「木材需給表」



35 我が国への産地別木材（用材）供給量（丸太換算）

（単位：千㎡、％）

			H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	
材	外	計	(28.9)	(18.8)	(19.2)	(18.6)	(18.9)	(17.9)	(17.5)	(17.2)	
		米材	28,700	16,129	13,506	13,108	13,942	13,013	12,415	12,377	
		米カナダ	14,460	6,844	5,838	5,560	6,225	6,153	6,057	6,083	
	南洋材	計	(13.7)	(12.2)	(8.9)	(8.8)	(8.7)	(9.2)	(8.3)	(7.7)	
		マレーシア	6,690	5,888	3,773	3,543	3,518	3,293	2,917	2,709	
		インドネシア その他	5,858 1,021	4,137 486	2,304 209	2,506 186	2,787 134	3,328 97	2,804 127	2,698 117	
	北洋材	ロシア	(7.5)	(8.6)	(3.3)	(3.1)	(3.2)	(3.1)	(2.9)	(3.3)	
	欧州材	ヨーロッパ州	(4.7)	(6.9)	(7.1)	(7.8)	(9.1)	(7.6)	(7.6)	(8.5)	
			4,675	5,937	4,967	5,509	6,754	5,554	5,374	6,135	
	材	その他の外材	ニュージーランド	(4.4)	(3.4)	(3.9)	(3.6)	(3.0)	(2.6)	(2.3)	(2.4)
				4,374	2,878	2,720	2,570	2,217	1,858	1,638	1,749
			チリ	(3.8)	(4.6)	(6.7)	(7.3)	(6.3)	(6.2)	(5.6)	(5.9)
				3,795	3,952	4,726	5,189	4,617	4,468	3,987	4,234
			オーストラリア	(8.7)	(10.2)	(11.0)	(7.5)	(5.6)	(5.8)	(6.6)	(5.7)
			8,604	8,729	7,722	5,323	4,106	4,203	4,662	4,067	
中国			(2.5)	(3.0)	(3.0)	(3.4)	(3.4)	(3.4)	(2.8)	(2.7)	
	2,445	2,544	2,084	2,396	2,483	2,434	1,967	1,912			
	ベトナム							(7.6)	(6.9)		
								5,418	4,946		
	その他	(7.7)	(12.3)	(10.9)	(11.9)	(13.3)	(14.7)	(8.0)	(8.7)		
		7,651	10,591	7,663	8,421	9,810	10,585	5,696	6,275		
	計	(81.8)	(80.0)	(74.0)	(72.1)	(71.4)	(70.4)	(69.2)	(68.9)		
		81,241	68,681	52,018	50,947	52,750	51,054	49,086	49,586		
国産材			(18.2)	(20.0)	(26.0)	(27.9)	(28.6)	(29.6)	(30.8)	(31.1)	
			18,022	17,176	18,236	19,686	21,117	21,492	21,797	22,355	
合計			(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	
			99,263	85,857	70,253	70,633	73,867	72,547	70,883	71,942	

- 注1：この表の数値は、国産丸太及び輸入丸太の供給量に、丸太材積に換算した輸入製材品、パルプ・チップ、合板等の値を加えて、各国別の供給量を算出したもの。
 2：南洋材のその他とは、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、パプア・ニューギニア、ソロモン諸島からの輸入である。
 3：欧州材のヨーロッパ州とは、ロシアを除くヨーロッパ各国からの輸入である。
 4：その他の外材のその他とは、アフリカ諸国等からの輸入である。
 5：ベトナムについては、平成26(2014)年以前はその他の外材のその他を含む。
 6：計の不一致は四捨五入による。
 7：()は、合計に占める割合。

資料：財務省「貿易統計」、林野庁「木材需給表」

36 我が国への製材用木材供給量（丸太換算）

（単位：千㎡）

			H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
輸入製材品	米材	計	8,233	5,187	4,266	4,278	4,457	3,677	3,635	3,483
		米カナダ	1,112	268	624	674	737	558	511	438
		7,121	4,919	3,642	3,604	3,720	3,119	3,124	3,045	
	南洋材	計	1,289	579	215	230	200	210	187	175
		マレーシア	651	311	170	174	148	159	137	121
		インドネシア その他	622 16	259 9	34 11	44 12	38 14	38 13	36 14	39 15
	北洋材	ロシア	878	1,695	1,174	1,218	1,397	1,225	1,218	1,393
	欧州材	ヨーロッパ州	3,448	4,528	3,558	3,831	5,021	3,913	3,746	4,293
	その他の外材	ニュージーランド	433	273	195	156	121	126	117	108
		チリ	778	660	454	447	437	558	449	394
		その他	854	384	273	211	201	167	119	122
		輸入製材品計	15,913	13,305	10,136	10,371	11,835	9,876	9,472	9,968
	輸入製材用丸太	米材	7,311	4,927	3,402	3,336	3,764	3,244	3,151	3,382
		南洋材	425	237	83	80	70	71	63	52
北洋材		3,259	1,938	355	181	218	188	119	79	
ニュージーランド その他		1,058 182	744 179	763 58	727 37	612 35	473 76	427 124	420 64	
輸入製材用丸太計		12,235	8,025	4,661	4,361	4,699	4,052	3,882	4,000	
国産材製材用丸太			12,798	11,571	10,582	11,321	12,058	12,211	12,004	12,182
合計			40,946	32,901	25,379	26,053	28,592	26,139	25,358	26,150

- 注1：輸入製材品の値は、貿易統計の結果を丸太材積に換算したものである。
 2：南洋材のその他とは、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、パプア・ニューギニア、ソロモン諸島からの輸入である。
 3：欧州材のヨーロッパ州とは、ロシアを除くヨーロッパ各国からの輸入である。
 4：その他の外材のその他とは、中国、オーストラリア、アフリカ諸国等からの輸入である。
 5：輸入製材用丸太は、「木材需給報告書」の値から半製品を差し引いたものである。
 6：国産材製材用丸太は、「木材需給報告書」の値である。なお、同報告書(資料)のデータは製材工場に入荷する時点をとらえたものである。
 7：計の不一致は四捨五入による。

資料：財務省「貿易統計」、農林水産省「木材需給報告書」、林野庁「木材需給表」

37 木材の主な品目別輸入量

(単位：千㎡)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	29 (17)
丸太	総数	15,948	10,654	4,757	4,556	4,152	3,450	3,652	3,266
	米材	4,786	3,453	2,980	3,413	3,109	2,622	2,832	2,586
	南洋材	3,032	1,409	554	277	267	233	210	141
	北洋材	5,605	4,689	447	228	214	147	155	137
	ニュージーランド材	1,843	922	737	605	534	422	432	378
	チリ材	110	106	...	0	...	0
	欧州材	70	36	30	20	19	18	17	17
	アフリカ材	231	12	3	5	4	5	4	4
	その他	43	9	5	2	2	1	1	1
製材品	総数	9,951	8,395	6,415	7,498	6,249	5,997	6,315	6,323
	米材	5,223	3,293	2,709	2,829	2,330	2,305	2,209	2,167
	南洋材	721	319	119	111	117	103	97	90
	北洋材	559	1,078	747	889	779	775	887	850
	ニュージーランド材	276	174	124	77	80	74	69	66
	チリ材	496	420	289	278	355	286	251	274
	欧州材	2,189	2,878	2,264	3,194	2,489	2,383	2,730	2,821
	アフリカ材	4	1	2	5	3	4	4	2
	その他	375	155	104	83	65	46	38	35
合板	総数	4,609	4,118	2,654	3,026	2,844	2,274	2,156	2,242
	米材	186	32	5	7	6	2	2	2
	南洋材	4,280	3,795	2,300	2,550	2,381	1,947	1,867	1,947
	その他	142	291	348	469	457	325	286	292

注1：合板は集成材等の積層木材を含まない。

2：南洋材はフィリピン、インドネシア、マレーシア、バプア・ニューギニア、シンガポール、ソロモン諸島、ブルネイの7か国より輸入された材。

3：欧州材は、ロシアを除くヨーロッパ各国より輸入された材。

4：計の不一致は四捨五入による。

資料：財務省「貿易統計」

38 近年の丸太価格

(単位：円/㎡)

年・月	国産材			米材		北洋材
	スギ中丸太	ヒノキ中丸太	カラマツ中丸太	ベイツガ丸太	ベイマツ丸太	北洋エゾマツ丸太
	径 14～22cm 長 3.65～4.0m	径 14～22cm 長 3.65～4.0m	径 14～28cm 長 3.65～4.0m	径 30cm 上 長 6.0m 上	径 30cm 上 長 6.0m 上	径 20～28cm 長 3.8m 上
H24 (2012) 年	11,400	18,500	10,600	24,000	23,800	23,800
25 (13)	11,500	19,700	10,700	23,000	29,300	25,400
26 (14)	13,500	20,000	11,700	25,100	30,100	26,900
27 (15)	12,700	17,600	11,700	24,800	32,100	25,600
28 (16)	12,300	17,600	11,800	25,000	31,000	23,300
29 (17)	13,100	18,100	11,900	23,000	32,600	24,400
29年 1月	13,400	18,600	11,900	23,600	32,100	23,700
2月	13,400	18,400	11,900	23,700	32,000	23,700
3月	13,100	18,000	11,900	24,000	26,800	23,700
4月	12,800	17,800	11,900	23,800	31,900	23,700
5月	12,700	17,700	11,900	24,000	31,500	23,700
6月	12,500	17,600	11,900	23,800	37,000	23,700
7月	12,400	17,600	11,900	23,800	34,500	25,000
8月	12,500	17,600	11,800	21,900	34,300	25,000
9月	13,000	18,000	11,800	21,900	32,800	25,000
10月	13,500	18,200	11,800	21,900	37,800	25,000
11月	13,900	18,600	11,900	21,900	32,700	25,000
12月	13,900	18,600	11,900	21,900	27,600	25,000

注1：価格は、各工場における工場着購入価格。

2：スギ中丸太から北洋エゾマツまでいずれも平成22(2010)年の推定消費量による加重平均値である。

3：平成25(2013)年の調査対象等の見直しにより、平成25(2013)年からのスギ中丸太、ベイツガ丸太、ベイマツ丸太のデータは、平成24(2012)年までのデータと必ずしも連続していない。

資料：農林水産省「木材価格」



39 近年の製材品価格

(単位：円/㎡、合板は円/枚)

年・月	国産材				米材			針葉樹合板 厚 1.2cm 幅 91.0cm 長 1.82m 1類
	スギ正角	スギ正角 (乾燥材)	ヒノキ正角	ヒノキ正角 (乾燥材)	ベイツガ正角 (防腐処理材)	ベイツガ平角		
	厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	厚 12.0cm 幅 12.0cm 長 4.0m 2級	厚 10.5～12cm 幅 24.0cm 長 3.65～4.0m 2級		
H24 (2012) 年	42,700	62,400	64,600	81,400	66,300	54,900	1,060	
25 (13)	48,600	62,700	73,000	85,200	70,900	65,700	1,140	
26 (14)	58,200	69,400	82,600	96,100	74,100	70,100	1,200	
27 (15)	58,100	65,100	78,600	84,600	75,300	70,400	1,090	
28 (16)	57,400	65,100	79,300	83,000	75,400	69,900	1,190	
29 (17)	57,600	66,200	80,300	84,900	75,600	70,200	1,270	
29年 1月	57,400	66,500	80,100	84,200	75,900	69,800	1,240	
2月	57,600	67,000	80,000	84,300	75,900	69,800	1,270	
3月	57,600	66,200	80,000	84,200	75,900	69,800	1,260	
4月	57,600	66,300	80,000	84,100	75,400	69,900	1,270	
5月	57,600	66,200	80,000	84,100	75,400	69,900	1,260	
6月	57,600	65,400	80,000	84,100	75,400	69,800	1,260	
7月	57,600	65,400	80,200	84,800	75,400	69,900	1,260	
8月	57,600	66,000	80,200	85,000	75,400	69,900	1,270	
9月	57,500	65,700	80,400	85,300	75,500	70,200	1,290	
10月	57,600	65,900	80,700	85,800	75,500	70,400	1,290	
11月	57,800	66,800	80,700	86,200	75,500	71,100	1,290	
12月	57,800	66,400	81,000	86,600	75,500	71,400	1,290	

注1：価格は、小売業者への店頭渡し販売価格。
 2：スギ正角、スギ正角(乾燥材)、ヒノキ正角、ヒノキ正角(乾燥材)、ベイツガ正角(防腐処理材)、ベイツガ平角、針葉樹合板のいずれも平成24(2012)年までは平成17(2005)年における年間の推定販売量による加重平均値、平成25(2013)年からは平成23(2011)年における年間の推定販売量による加重平均値である。
 3：平成25(2013)年の調査対象等の見直しにより、平成25(2013)年からのスギ正角(乾燥材)、ヒノキ正角、ヒノキ正角(乾燥材)、針葉樹合板のデータは、平成24(2012)年までのデータと必ずしも連続していない。
 資料：農林水産省「木材価格」

40 山元立木価格、丸太価格、製材品価格、山林素地価格

(単位：円/㎡)

	山元立木価格			丸太価格			製材品価格			全国平均用材林地価格 (10a当たり)
	スギ	ヒノキ	マツ	スギ中丸太	ヒノキ中丸太	ベイツガ丸太	スギ正角	ヒノキ正角	ベイツガ正角	
				径14～22cm 長3.65～4.0m	径14～22cm 長3.65～4.0m	径30cm上 長6.0m上	厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	
S30 (1955) 年	4,478	5,046	2,976	8,400	9,300	...	14,100	20,800	...	8,927
35 (60)	7,148	7,996	4,600	11,300	12,000	...	17,800	26,400	...	16,005
40 (65)	9,380	10,645	5,743	14,300	18,000	12,900	22,900	35,600	...	20,586
45 (70)	13,168	21,352	7,677	18,800	37,600	14,800	35,500	80,100	...	32,705
50 (75)	19,726	35,894	10,899	31,700	66,200	24,800	61,200	122,900	40,100	64,797
55 (80)	22,707	42,947	11,162	39,600	76,400	35,100	72,700	146,700	58,000	85,990
60 (85)	15,156	30,991	7,920	25,500	54,000	25,500	52,800	91,700	45,800	86,820
H2 (90)	14,595	33,607	7,528	26,600	67,800	26,500	61,700	120,200	55,600	83,038
7 (95)	11,730	27,607	5,966	21,700	53,500	25,800	56,800	100,600	56,400	75,633
12 (2000)	7,794	19,297	4,168	17,200	40,300	22,200	47,400	75,700	49,500	68,659
17 (05)	3,628	11,988	2,037	12,400	25,500	23,000	41,800	67,200	51,200	59,991
22 (10)	2,654	8,128	1,496	11,800	21,600	24,200	41,600	64,900	...	50,899
25 (13)	2,465	6,493	1,376	11,500	19,700	23,000	48,600	73,000	...	45,733
26 (14)	2,968	7,507	1,638	13,500	20,000	25,100	58,200	82,600	...	44,844
27 (15)	2,833	6,284	1,531	12,700	17,600	24,800	58,100	78,600	...	44,277
28 (16)	2,804	6,170	1,681	12,300	17,600	25,000	57,400	79,300	...	43,478
29 (17)	2,881	6,200	1,705	13,100	18,100	23,000	57,600	80,300	...	42,800

注1：山元立木価格は、利用材積1㎡当たり平均価格(各年3月末現在)。
 2：丸太価格は、各工場における工場着購入価格。
 3：製材品価格は、小売業者への店頭渡し販売価格。
 4：製材品価格のうちベイツガ正角については、平成19(2007)年に、統計の調査品目から削除された。
 資料：一般財団法人日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」、農林水産省「木材需給累年報告書(平成7(2005)年9月)」「昭和30(1955)～平成2(1990)年」「木材需給報告書」(平成7(1995)～29(2017)年)

41 特用林産物の生産量及び生産額

		単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	対前年 増減率 (%)
食用	乾しいたけ	トン	5,236	4,091	3,516	3,499	3,175	2,631	2,734	3.9
		百万円	13,106	13,484	15,064	8,974	9,238	12,730	13,801	8.4
	生しいたけ	トン	67,224	65,186	77,079	67,946	67,510	68,285	69,707	2.1
		百万円	69,375	68,837	72,146	66,519	69,130	70,402	73,331	4.2
	なめこ	トン	24,942	24,801	27,261	23,383	21,796	22,897	22,935	0.2
		百万円	11,848	9,375	10,141	8,020	8,740	9,731	10,481	7.7
	えのきたけ	トン	109,510	114,542	140,951	133,647	135,919	131,683	133,297	1.2
		百万円	38,438	30,583	32,842	32,476	33,980	34,238	31,325	▲ 8.5
	ひらたけ	トン	8,546	4,074	2,535	2,290	2,327	3,263	3,449	5.7
		百万円	3,718	1,552	1,080	893	940	1,436	1,462	1.8
	ぶなしめじ	トン	82,414	99,787	110,486	117,363	115,751	116,152	116,271	0.1
百万円		44,586	42,310	54,138	53,635	51,972	52,152	48,717	▲ 6.6	
まいたけ	トン	38,998	45,111	43,446	45,453	49,541	48,852	48,523	▲ 0.7	
	百万円	29,833	27,969	32,628	29,635	33,886	31,656	35,034	10.7	
く　　り	トン	17,488	12,370	23,500	21,000	21,400	16,300	16,500	1.2	
	百万円	6,873	5,208	8,860	10,794	9,544	8,525	13,464	57.9	
そ　　他	百万円	58,613	59,313	49,613	42,179	44,988	44,503	44,814	0.7	
計	百万円	276,390	258,631	276,512	253,125	262,418	265,373	272,429	2.7	
非食用	生　　る　　し	kg	1,808	1,340	1,580	1,045	1,003	1,182	1,250	5.8
		百万円	68	48	73	49	48	56	59	5.4
	竹　　材	千束	2,008	1,290	963	1,196	1,178	1,235	1,272	3.0
		百万円	1,994	1,181	790	767	741	780	772	▲ 1.0
	桐　　材	m	3,213	1,757	817	647	669	599	492	▲ 17.9
		百万円	261	141	66	52	54	48	39	▲ 18.8
	木　　炭 (竹炭を含む)	トン	56,456	35,029	25,888	22,528	20,880	18,210	17,180	▲ 5.7
百万円		6,556	5,356	3,416	2,997	2,779	2,493	2,309	▲ 7.4	
そ　　他	百万円	11,781	11,523	3,928	4,542	5,225	4,868	5,594	14.9	
計	百万円	20,660	18,249	8,273	8,407	8,847	8,245	8,773	6.4	
合　　計	百万円	297,050	276,880	284,785	261,532	271,265	273,618	281,202	2.8	

資料：林野庁「特用林産基礎資料」、農林水産省「作物統計」



42 木質バイオマスの利用量（燃料用）

	平成 28 (2016) 年				
	(絶乾トン)				
	木材チップ	木質ペレット	薪	木粉（おが粉）	左記以外の 木質バイオマス
全 国	7,734,236	214,235	49,972	322,833	559,496
北 海 道	456,692	4,819	2,321	3,806	24,067
青 森	55,321	1,244	312	-	100
岩 手	197,265	6,042	908	5,814	35,811
宮 城	262,470	1,614	-	290	2,157
秋 田	324,884	5,397	3,071	6,777	92,643
山 形	32,198	1,055	1	1,257	6,159
福 島	443,431	131,719	349	28,415	1,065
茨 城	672,122	-	151	59,028	93,571
栃 木	309,225	142	640	9,000	-
群 馬	89,310	1,321	1,563	6,116	26,238
埼 玉	127	1,365	-	-	5,234
千 葉	289,289	-	-	-	-
東 京	30	-	65	100	-
神 奈 川	190,538	-	-	-	-
新 潟	287,959	3,227	91	11,365	-
富 山	112,147	699	-	18,000	15,300
石 川	34,112	65	-	-	368
福 井	90,433	174	-	6,005	-
山 梨	7,111	949	569	150	2,080
長 野	23,565	1,555	1,386	1,144	4,811
岐 阜	401,802	3,162	3,021	3,125	3,408
静 岡	511,658	2,907	6,530	7,022	16,984
愛 知	153,461	30	130	1,284	1,480
三 重	189,419	2,525	30	778	1,853
滋 賀	35,853	-	-	52	-
京 都	23,955	-	-	4,978	487
大 阪	72,433	323	-	240	-
兵 庫	208,378	324	728	1,510	-
奈 良	64,830	116	130	5,434	330
和 歌 山	3,397	86	602	1,508	8,908
鳥 取	106,864	211	215	2,010	6,098
島 根	141,837	506	420	2,000	10,006
岡 山	202,231	10,313	730	100	-
広 島	53,517	731	250	55,381	2,044
山 口	250,833	974	-	3,333	60,351
徳 島	169,901	197	1,001	8,527	5,171
香 川	11,011	38	225	6,471	-
愛 媛	79,271	-	350	10,000	3,500
高 知	183,600	5,636	673	2,053	-
福 岡	40,855	-	760	1,000	16,248
佐 賀	50,953	-	-	12,282	-
長 崎	6,881	-	-	-	5,045
熊 本	92,528	1,751	1,051	3,350	78,054
大 分	201,275	-	-	-	18,500
宮 崎	410,810	2,344	16,760	31,166	11,425
鹿 児 島	188,454	-	4,939	1,962	-
沖 縄	-	20,674	-	-	-

注：木質バイオマスエネルギーを利用した発電機及びボイラーを有する事業所における利用量である。
資料：林野庁「木質バイオマスエネルギー利用動向調査」

43 木材チップの由来別利用量（燃料用）

（単位：絶乾トン）

	平成 28 (2016) 年						
	計	間伐材・ 林地残材等	製材等残材	建設資材 廃棄物 (解体材、廃材)	輸入チップ	輸入丸太を 用いて 国内で製造	左記以外の木材 (剪定枝等)
全 国	7,734,236	1,917,839	1,649,070	3,980,407	8,832	6,215	171,873
北 海 道	456,692	199,066	140,400	115,764	10	-	1,452
青 森	55,321	41,316	13,853	-	-	-	152
岩 手	197,265	89,821	96,738	8,947	-	-	1,759
宮 城	262,470	26,558	118,410	108,502	-	-	9,000
秋 田	324,884	82,184	102,928	131,651	-	-	8,121
山 形	32,198	28,473	2,031	1,497	-	-	197
福 島	443,431	82,586	19,244	341,601	-	-	-
茨 城	672,122	51,835	115,655	504,097	-	-	535
栃 木	309,225	32,859	46,941	213,611	-	-	15,814
群 馬	89,310	12,839	32,603	36,562	-	-	7,306
埼 玉	127	26	101	-	-	-	-
千 葉	289,289	9,780	2,987	274,585	-	-	1,937
東 京	30	-	30	-	-	-	-
神 奈 川	190,538	6,971	448	183,119	-	-	-
新 潟	287,959	12,243	16,901	258,815	-	-	-
富 山	112,147	25,207	19,312	63,321	-	-	4,307
石 川	34,112	11,723	22,113	276	-	-	-
福 井	90,433	37,113	8,427	42,128	1,500	1,215	50
山 梨	7,111	1,029	5,762	320	-	-	-
長 野	23,565	16,189	4,379	2,997	-	-	-
岐 阜	401,802	74,731	170,661	154,954	-	-	1,456
静 岡	511,658	14,092	46,078	419,704	-	-	31,784
愛 知	153,461	30	32,930	120,501	-	-	-
三 重	189,419	60,433	12,357	116,629	-	-	-
滋 賀	35,853	2,961	-	18,234	-	-	14,658
京 都	23,955	473	23,482	-	-	-	-
大 阪	72,433	-	-	67,785	-	-	4,648
兵 庫	208,378	54,946	20,133	116,905	6,566	-	9,828
奈 良	64,830	40,138	17,685	2,007	-	5,000	-
和 歌 山	3,397	534	2,770	85	-	-	8
鳥 取	106,864	36,410	53,699	15,999	756	-	-
島 根	141,837	96,952	27,535	17,250	-	-	100
岡 山	202,231	35,852	75,554	89,872	-	-	953
広 島	53,517	12,572	25,345	15,600	-	-	-
山 口	250,833	37,444	17,598	147,909	-	-	47,882
徳 島	169,901	21,084	46,214	102,603	-	-	-
香 川	11,011	-	1,701	9,310	-	-	-
愛 媛	79,271	3,214	32,546	43,511	-	-	-
高 知	183,600	96,519	42,394	43,518	-	-	1,169
福 岡	40,855	1,139	6,371	33,345	-	-	-
佐 賀	50,953	23,507	20,172	7,274	-	-	-
長 崎	6,881	1,443	5,438	-	-	-	-
熊 本	92,528	49,538	17,990	25,000	-	-	-
大 分	201,275	123,909	33,241	35,368	-	-	8,757
宮 崎	410,810	176,509	145,050	89,251	-	-	-
鹿 児 島	188,454	185,591	2,863	-	-	-	-
沖 縄	-	-	-	-	-	-	-

注：木質バイオマスエネルギーを利用した発電機及びボイラーを有する事業所における利用量である。
資料：林野庁「木質バイオマスエネルギー利用動向調査」



木材産業等

44 製材工場数

	単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
製材工場数	工場	11,692	9,011	6,569	5,927	5,690	5,469	5,206	4,934
7.5～22.5kW未満	工場	1,137	899	784	716	716	692	635	619
22.5～37.5	工場	2,635	1,919	1,333	1,195	1,140	1,079	1,033	953
37.5～75.0	工場	4,406	3,371	2,165	1,891	1,759	1,684	1,571	1,458
75.0～150.0	工場	1,991	1,552	1,196	1,082	1,039	990	959	918
150.0～300.0	工場	980	782	641	601	604	607	592	573
300.0kW以上	工場	543	488	450	442	432	417	416	413

注：工場数は、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)であり、製材用動力の出力数が7.5kW未満の工場を除く。
資料：農林水産省「木材需給報告書」

45 用途別製材品出荷量

(単位：千㎡)

	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
建築用材	13,813	10,507	7,642	7,484	8,265	7,875	7,481	7,623
土木建設用材	698	479	380	424	476	409	410	376
木箱仕組板・こん包用材	1,862	1,400	1,087	1,110	1,084	1,033	1,048	1,019
家具・建具用材	368	150	69	60	57	56	63	51
その他用材	490	289	237	224	218	222	227	221
計	17,231	12,825	9,415	9,302	10,100	9,595	9,231	9,293
うち人工乾燥材	…	2,116	2,544	2,744	2,984	3,219	3,153	3,421

注：出力7.5kW以上の製材工場の数値。
資料：農林水産省「木材需給報告書」

46 国産材・外材別製材工場数及び製材用素材入荷量

(単位：工場、千㎡)

	計		国産材のみ		国産材と外材		外材のみ	
	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量
H12(2000)年	11,633	26,526	5,444	9,663	4,614	6,775	1,575	10,088
17(05)	8,955	20,540	4,978	9,704	3,017	3,839	960	6,997
22(10)	6,486	15,762	4,442	9,344	1,618	2,314	426	4,104
24(12)	5,883	16,247	4,164	10,251	1,326	2,868	393	3,128
25(13)	5,659	17,271	4,147	10,975	1,163	3,190	349	3,106
26(14)	5,436	16,661	4,112	11,161	1,011	2,828	313	2,672
27(15)	5,119	16,182	3,906	11,009	923	2,815	290	2,353
28(16)	4,867	16,590	3,716	11,212	874	2,909	277	2,470

注：工場数は素材の入荷があった工場で、かつ製材用動力の出力数が7.5kW以上の製材工場を対象とした。
資料：農林水産省「木材需給報告書」

47 合板工場数及び生産量

	単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	
合単板工場数	工場	354	271	192	197	195	186	185	183	
生産量	普通合板生産量	千㎡	3,218	3,212	2,645	2,549	2,811	2,813	2,756	3,063
	うち針葉樹合板	千㎡	…	2,249	2,281	2,333	2,627	2,615	2,569	2,888
	特殊合板生産量	千㎡	1,534	1,037	647	640	654	584	524	642

注：工場数は、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)。
資料：農林水産省「木材需給報告書」

48 合板用素材の入荷量

(単位：千㎡)

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
入 荷 量 合 計		5,401	4,636	3,811	3,837	4,181	4,405	4,218	4,638
国産材	小 計	138	863	2,490	2,602	3,016	3,191	3,356	3,682
	針 葉 樹	60	833	2,476	2,593	3,006	3,177	3,340	3,667
	す ぎ	0	542	1,538	1,593	1,922	2,111	2,087	2,280
	か ら ま つ	51	210	649	690	733	681	687	798
広 葉 樹	78	30	14	9	10	14	16	15	
外 材	小 計	5,263	3,773	1,321	1,235	1,165	1,214	864	957
	針 葉 樹	…	2,624	866	673	667	941	619	495
	南 洋 材	2,597	1,108	424	251	204	216	193	184
	ラ ワ ン 材	1,738	800	341	244	204	216	189	184
	米 材	29	13	412	855	871	869	544	588
	北 洋 材	1,893	2,506	431	x	x	88	100	151
	ニュージーランド材	603	124	44	x	x	35	20	28
そ の 他	141	22	10	x	3	6	5	5	

注：「X」は個人又はその他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。

資料：農林水産省「木材需給報告書」

49 集成材製造業の企業数

	単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
集 成 材 企 業 数	工場	281	259	182	174	166	165	157	150

資料：日本集成材工業協同組合

50 集成材の生産量及び輸入量

(単位：千㎡)

	国 内 生 産 量								輸 入 量		
	造 作 用			構 造 用					合 計	集 成 材	グ ル ー ラ ム
	化粧ばり	無化粧	計	化粧ばり	小断面	中断面	大断面	計			
H12 (2000)年	163	106	270	71	326	189	36	622	892	106	445
17 (05)	119	83	202	28	646	594	41	1,310	1,512	162	671
22 (10)	77	76	152	7	576	692	26	1,302	1,455	118	564
24 (12)	72	78	150	6	621	718	29	1,374	1,524	122	674
25 (13)	72	82	153	6	671	783	33	1,493	1,647	108	761
26 (14)	64	82	146	4	646	719	41	1,409	1,555	112	728
27 (15)	55	83	140	4	600	705	37	1,347	1,485	114	705
28 (16)	50	79	129	3	658	724	36	1,420	1,549	114	772

注：計の不一致は四捨五入による。

資料：財務省「貿易統計」、日本集成材工業協同組合調べ。

51 木材チップ工場数

	単位	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
チ ッ プ 工 場 数	工場	2,657	2,040	1,577	1,536	1,510	1,477	1,424	1,393

注：工場数は、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)。

資料：農林水産省「木材需給報告書」

52 木材チップ生産量

(単位：千㎡(平成12(2000)年)、千トン(平成17(2005)年～))

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
木 材 チ ッ プ 生 産 量		10,851	6,005	5,407	5,861	6,452	5,850	5,745	5,826
原 材 料 別	素 材 (原 木)	4,282	2,235	2,408	2,554	2,610	2,537	2,558	2,567
	工 場 残 材	5,130	2,188	1,839	1,663	2,006	1,980	1,870	1,976
	林 地 残 材	32	67	133	193	142	110	105	87
解 体 材 ・ 廃 材		1,407	1,515	1,027	1,451	1,694	1,223	1,207	1,194
樹 種 別	針 葉 樹	7,395	2,952	2,786	2,877	3,207	3,222	3,183	3,289
	広 葉 樹	3,456	1,538	1,594	1,533	1,551	1,405	1,353	1,342

資料：農林水産省「木材需給報告書」



53 プレカット工場数とシェア

	H13年 (2001)	18 (06)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
プレカット工場数	757	664	659	…	…	…	…	730
木造軸組構法住宅のうち プレカットのシェア (%)	55	81	88	88	90	90	91	92

資料：プレカット工場数は農林水産省「木材流通構造調査」、プレカットのシェアは一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会調べ。

54 木材市売市場・木材センター数及び取扱量

(単位：千㎡ (㎡))

		S59年 (1984)	H3 (91)	13 (2001)	18 (06)	23 (11)	28 (16)	
事業所数	計	613	624	567	516	465	413	
	木材市売市場	556	574	523	…	…	378	
	木材センター	57	50	44	…	…	35	
木材市売市場・ 木材センター	素材流通業者	事業所数	482	480	425	…	…	
		1事業所当たり取扱量	8,785 (18,226)	9,128 (19,017)	8,907 (20,958)	9,039 …	9,557 …	11,183 …
	製品流通業者	事業所数	315	309	274	…	…	…
		1事業所当たり取扱量	6,951 (22,067)	7,600 (24,595)	5,092 (18,584)	4,288 …	4,049 …	2,687 …

注1：木材市売市場とは、市売買(定められた日時に、売り手と買い手が「せり」又は「入札」によって売買価格を決定する方法)と称される売買方式によって木材の売買を行わせる事業所をいう。

2：木材センターとは、二つ以上の売り手を同一の場所に集め、買い手を対象として相対取引によって木材の売買を行わせる事業所をいう。

3：事業所数の内訳(木材市売市場及び木材センター)は平成18(2006)年及び平成23(2011)年の統計調査項目において削除されていた。

4：木材市売市場・木材センターの各項目の中の事業所数は平成18(2006)年の統計調査項目から削除された。

資料：農林水産省「木材流通構造調査報告書」

55 木材販売業者数及び取扱量

(単位：千㎡ (㎡))

		S59年 (1984)	H3 (91)	13 (2001)	18 (06)	23 (11)	28 (16)	
事業所数	計	17,085	15,584	10,578	9,430	8,404	7,487	
	卸売	4,887	4,693	…	…	…	…	
	小売	12,198	10,891	…	…	…	…	
木材販売業者	総数	事業所数	13,998	13,198	9,695	…	…	…
		1事業所当たり取扱量	31,051 (2,218)	35,530 (2,692)	21,225 (2,189)	18,069 …	21,081 …	16,628 …
	国産材	事業所数	12,792	11,762	8,852	…	…	…
		1事業所当たり取扱量	10,970 (858)	10,188 (866)	6,340 (716)	6,822 …	7,799 …	7,697 …
外材	事業所数	12,485	11,616	8,442	…	…	…	
	1事業所当たり取扱量	20,081 (1,608)	25,342 (2,182)	14,886 (1,763)	11,248 …	13,282 …	8,931 …	

注1：木材販売業者とは、木材を購入して販売する事業所をいう。

2：事業所数の内訳(卸売及び小売)は平成13(2001)年の統計調査項目から削除された。

3：木材販売業者の各項目の中の事業所数は平成18(2006)年の統計調査項目から削除された。

資料：農林水産省「木材流通構造調査報告書」

56 新設住宅着工戸数及び床面積

		H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	対前年 増減率(%)
新設住宅着工戸数(戸)	総数	1,229,843	1,236,175	813,126	980,025	892,261	909,299	967,237	964,641	▲ 0.3
	資金別									
	民間資金	752,205	1,044,946	690,736	864,411	792,283	806,400	861,669	866,552	0.6
	公的資金	477,638	191,229	122,390	115,614	99,978	102,899	105,568	98,089	▲ 7.1
	持家	451,522	353,267	305,221	354,772	285,270	283,366	292,287	284,283	▲ 2.7
	分譲住宅	345,291	369,067	201,888	263,931	237,428	241,201	250,532	255,191	1.9
	貸与住宅	421,332	504,294	298,014	356,263	362,191	378,718	418,543	419,397	0.2
関係別										
給与住宅	11,698	9,547	8,003	5,059	7,372	6,014	5,875	5,770	▲ 1.8	
構造別										
木造率(%)	(45.2)	(43.9)	(56.6)	(56.1)	(54.9)	(55.5)	(56.5)	(56.5)	(56.5)	0.1
木造	555,814	542,848	460,134	549,971	489,463	504,318	546,336	545,366	▲ 0.2	
非木造	674,029	693,327	352,992	430,054	402,798	404,981	420,901	419,275	▲ 0.4	
新設住宅着工床面積(千㎡)	総数	119,879	106,593	72,910	87,210	75,681	75,059	78,183	77,515	▲ 0.9
資金別										
民間資金	65,116	88,446	61,641	76,274	66,572	65,654	68,498	68,592	0.1	
公的資金	54,763	18,147	11,268	10,936	9,108	9,405	9,686	8,923	▲ 7.9	
持家	63,009	47,320	38,533	44,371	35,342	34,825	35,662	34,328	▲ 3.7	
分譲住宅	33,520	34,995	19,023	24,245	21,765	21,502	22,451	23,246	3.5	
貸与住宅	22,526	23,616	14,849	18,182	18,062	18,334	19,639	19,549	▲ 0.5	
関係別										
給与住宅	823	662	505	412	512	397	432	392	▲ 9.2	
構造別										
木造率(%)	(53.8)	(53.0)	(64.8)	(64.6)	(63.5)	(64.3)	(65.2)	(65.0)	▲ 0.3	
木造	64,531	56,494	47,278	56,342	48,068	48,279	50,992	50,346	▲ 1.3	
非木造	55,347	50,100	25,632	30,868	27,613	26,780	27,191	27,168	▲ 0.1	
1戸当たり床面積(㎡)	総数	97.5	86.2	89.7	89.0	84.8	82.5	80.8	80.4	▲ 0.6
資金別										
民間資金	86.6	84.6	89.2	88.2	84.0	81.4	79.5	79.2	▲ 0.4	
公的資金	114.7	94.9	92.1	94.6	91.1	91.4	91.8	91.0	▲ 0.9	
持家	139.5	133.9	126.2	125.1	123.9	122.9	122.0	120.8	▲ 1.0	
分譲住宅	97.1	94.8	94.2	91.9	91.7	89.1	89.6	91.1	1.7	
貸与住宅	53.5	46.8	49.8	51.0	49.9	48.4	46.9	46.6	▲ 0.7	
関係別										
給与住宅	70.4	69.3	63.1	81.4	69.5	66.0	73.5	68.0	▲ 7.5	
構造別										
木造	116.1	104.1	102.7	102.4	98.2	95.7	93.3	92.3	▲ 1.1	
非木造	82.1	72.3	72.6	71.8	68.6	66.1	64.6	64.8	0.3	

注1：資金別で公的資金と民間資金を併用した住宅は、公的資金に含めて計上した。

2：対前年増減率のうち、木造率における数値は、前年との差である。

3：計の不一致は四捨五入による。

資料：国土交通省「住宅着工統計」

57 工法別新設木造住宅着工戸数

(単位：戸、%)

	H12年 (2000)	17 (05)	22 (10)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	29 (17)	対前年 増減率(%)
木造軸組構法住宅	(80.3) 446,359	(78.5) 426,299	(76.0) 349,865	(75.1) 412,892	(74.2) 362,994	(74.4) 375,357	(74.8) 408,632	(75.5) 412,004	0.8
ツーバイフォー工法住宅	(14.2) 79,114	(17.7) 95,824	(20.9) 96,104	(21.8) 120,111	(22.8) 111,503	(22.7) 114,617	(22.6) 123,713	(22.0) 120,059	▲ 3.0
木質系プレハブ工法住宅	(5.5) 30,341	(3.8) 20,725	(3.1) 14,165	(3.1) 16,968	(3.1) 14,966	(2.8) 14,344	(2.6) 13,991	(2.4) 13,303	▲ 4.9
合計	555,814	542,848	460,134	549,971	489,463	504,318	546,336	545,366	▲ 0.2

注1：()は、新設木造住宅着工戸数に占める割合。

2：計の不一致は四捨五入による。

資料：国土交通省「住宅着工統計」



海外の森林

58 世界各国の森林面積

国名	土地面積 (千ha)	森林面積 (千ha)	人工林面積 (千ha)	森林率 (%)	国名	土地面積 (千ha)	森林面積 (千ha)	人工林面積 (千ha)	森林率 (%)
オーストリア	8,244	3,869	1,692	46.9	アンゴラ	124,670	57,856	125	46.4
ベルギー・ルクセンブルグ	3,287	770	422	23.4	カメルーン	47,271	18,816	26	39.8
チェコ	7,722	2,667	2,643	34.5	コートジボワール	31,800	10,401	427	32.7
デンマーク	4,243	612	464	14.4	スーダン	186,665	19,210	6,121	10.3
エストニア	4,239	2,232	174	52.7	コンゴ民主共和国	226,705	152,578	60	67.3
フィンランド	30,390	22,218	6,775	73.1	エチオピア	109,631	12,499	972	11.4
フランス	54,766	16,989	1,967	31.0	マダガスカル	58,154	12,473	312	21.4
ドイツ	34,861	11,419	5,295	32.8	モザンビーク	78,638	37,940	75	48.2
ギリシャ	12,890	4,054	140	31.5	タンザニア	88,580	46,060	290	52.0
ハンガリー	9,127	2,069	1,652	22.7	ザンビア	74,339	48,635	64	65.4
アイスランド	10,025	49	38	0.5	ジンバブエ	38,685	14,062	87	36.4
アイルランド	6,889	754	683	10.9	アフリカ計	2,986,544	624,103	16,325	20.9
イタリア	29,414	9,297	639	31.6	中国	942,530	208,321	78,982	22.1
ラトビア	6,220	3,356	612	54.0	インド	297,319	70,682	12,031	23.8
オランダ	3,375	376	376	11.1	インドネシア	171,857	91,010	4,946	53.0
ノルウェー	30,427	12,112	1,529	39.8	イラン	184,806	10,692	941	5.8
ポーランド	30,622	9,435	8,957	30.8	イスラエル	2,164	165	89	7.6
ポルトガル	9,026	3,182	891	35.3	日本	36,450	24,958	10,270	68.5
ロシア	1,637,687	814,931	19,841	49.8	マレーシア	32,855	22,195	1,966	67.6
スロバキア	4,809	1,940	960	40.3	ミャンマー	65,755	29,041	944	44.2
スロベニア	2,014	1,248	34	62.0	韓国	9,710	6,184	1,866	63.7
スペイン	49,880	18,418	2,909	36.9	タイ	51,089	16,399	3,986	32.1
スウェーデン	41,034	28,073	13,737	68.4	トルコ	76,963	11,715	3,386	15.2
スイス	4,000	1,254	172	31.4	ベトナム	31,007	14,773	3,663	47.6
英国	24,193	3,144	...	13.0	アジア計	3,117,641	593,362	128,546	19.0
ヨーロッパ計	2,213,947	1,015,482	82,006	45.9	カナダ	909,351	347,069	15,784	38.2
アルゼンチン	273,669	27,112	1,202	9.9	メキシコ	194,395	66,040	87	34.0
ポリビア	108,330	54,764	26	50.6	米 国	916,192	310,095	26,364	33.8
ブラジル	835,814	493,538	7,736	59.0	北中央アメリカ計	2,134,366	750,653	43,320	35.2
チリ	74,353	17,735	3,044	23.9	オーストラリア	768,230	124,751	2,017	16.2
コロンビア	110,950	58,502	71	52.7	ニュージーランド	26,331	10,152	2,087	38.6
エクアドル	24,836	12,548	55	50.5	オセアニア計	849,680	173,524	4,381	20.4
ペルー	128,000	73,973	1,157	57.8	世界計	13,048,777	3,999,134	289,599	30.6
ベネズエラ	88,205	46,683	557	52.9					
南アメリカ計	1,746,599	842,011	15,022	48.2					

注1：OECD加盟国、及び、森林面積が1,000万ha以上かつ人口が1,000万人以上の国を対象。

2：「…」はデータ無し。

3：土地面積は内水面面積を除く。

資料：FAO「The Global Forest Resources Assessment 2015」

59 世界の木材生産量と木材貿易量

① 木材生産量

(単位：木質パルプは千トン、その他は千m³)

地域	丸太	製材		合板等	木質パルプ		
		産業用材	薪炭用材				
世界計	3,736,977	1,873,652	1,863,325	467,572	415,602	179,502	
大陸別	アフリカ	746,004	73,412	672,593	10,446	3,469	2,412
	北米	564,677	514,356	50,321	127,875	47,715	66,614
	中南米	488,874	236,752	252,121	34,170	19,918	28,273
	アジア	1,115,559	392,993	722,566	128,982	254,901	32,240
	ヨーロッパ	745,924	590,140	155,784	156,480	85,822	47,095
オセアニア	75,939	65,998	9,941	9,619	3,777	2,868	

② 木材輸出量

地域	丸太	製材		合板等	木質パルプ		
		産業用材	薪炭用材				
世界計	131,549	122,360	9,189	146,545	90,890	63,780	
大陸別	アフリカ	6,852	5,916	936	2,383	588	1,062
	北米	18,785	18,408	377	39,924	10,648	17,709
	中南米	1,604	1,577	27	6,655	5,584	20,984
	アジア	4,648	4,625	23	9,115	30,549	5,369
	ヨーロッパ	74,061	66,285	7,776	86,356	42,457	17,727
オセアニア	25,599	25,549	50	2,112	1,064	929	

③ 木材輸入量

地域	丸太	製材		合板等	木質パルプ		
		産業用材	薪炭用材				
世界計	133,395	127,085	6,310	140,848	83,955	62,766	
大陸別	アフリカ	1,612	515	1,097	9,469	2,315	682
	北米	5,720	5,554	166	31,089	16,274	5,911
	中南米	323	319	4	2,892	3,083	2,044
	アジア	66,311	66,240	72	56,624	25,390	33,362
	ヨーロッパ	59,401	54,431	4,970	39,886	36,018	20,420
オセアニア	28	27	1	888	875	348	

注1：2016年の数値。

2：輸出入量における産業用材については、チップ、残材を含む。

3：製材は、枕木を含む。

4：合板等とは、単板、合板、パーティクルボード及びファイバーボードである。

5：計の不一致は四捨五入による。

資料：FAO「FAOSTAT」(2018年3月1日現在有効なもの)

60 産業用材の主な生産・輸出入国

(単位：千m³)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米 国	356,586	ロシア	20,046	中 国	48,541
ロシア	198,195	ニュージーランド	15,951	オーストリア	9,128
中 国	162,965	米 国	11,470	ドイツ	8,656
カナダ	157,770	カナダ	6,938	スウェーデン	6,807
ブラジル	145,102	チェコ	5,728	フィンランド	5,911
世界計	1,873,652	世界計	122,360	世界計	127,085

注1：2016年の数値。

2：輸出入量及び輸入量については、チップ、残材を含む。

3：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

4：中国はChina, mainlandの数値。

資料：FAO「FAOSTAT」(2018年3月1日現在有効なもの)

61 製材の主な生産・輸出入国

(単位：千m³)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米 国	78,151	カナダ	33,171	中 国	31,494
中 国	77,161	ロシア	26,348	米 国	29,798
カナダ	49,724	スウェーデン	13,015	英 国	6,617
ロシア	36,794	フィンランド	8,624	日 本	6,315
ドイツ	22,177	ドイツ	7,987	ドイツ	5,268
世界計	467,572	世界計	146,545	世界計	140,848

注1：2016年の数値。

2：枕木を含む。

3：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

4：中国はChina, mainlandの数値。

資料：FAO「FAOSTAT」(2018年3月1日現在有効なもの)

62 合板等の主な生産・輸出入国

(単位：千m³)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
中 国	211,177	中 国	14,663	米 国	12,876
米 国	34,516	カナダ	8,436	ドイツ	5,586
ロシア	15,049	ドイツ	6,115	日 本	4,138
カナダ	13,199	ロシア	5,584	英 国	3,438
ドイツ	12,661	タイ	4,727	カナダ	3,394
世界計	415,602	世界計	90,890	世界計	83,955

注1：2016年の数値。

2：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

3：中国はChina, mainlandの数値。

資料：FAO「FAOSTAT」(2018年3月1日現在有効なもの)

63 木質パルプの主な生産・輸出入国

(単位：千トン)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米 国	49,534	ブラジル	13,586	中 国	21,023
ブラジル	19,409	カナダ	9,910	米 国	5,613
カナダ	17,080	米 国	7,799	ドイツ	4,879
スウェーデン	11,569	チリ	4,652	イタリア	3,418
フィンランド	10,920	スウェーデン	3,805	オランダ	2,360
世界計	179,502	世界計	63,780	世界計	62,766

注1：2016年の数値。

2：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

3：中国はChina, mainlandの数値。

資料：FAO「FAOSTAT」(2018年3月1日現在有効なもの)

参考
付
表

64 JICAを通じた森林・林業分野の技術協力プロジェクト等

地域	国名	プロジェクト名等	活動の内容
アジア	インドネシア	日本インドネシアREDD+実施メカニズム構築プロジェクト 2013年6月～2018年6月	森林保全及び気候変動対策としてREDD+を推進し、効果的なREDD+実施メカニズムを構築。西カリマンタン州でパイロット活動を実施。
	ラオス	持続可能な森林管理及びREDD+支援プロジェクト 2014年9月～2020年9月	持続可能な森林管理及びREDD+に必要な関連情報やデータを包括的に運用管理するシステムの構築と人材育成を実施。
	ベトナム	持続的自然資源管理プロジェクト 2015年8月～2020年8月	持続的自然資源管理に必要な国家能力を強化するため、政策、持続的森林管理・REDD+、生物多様性の活動を実施。
	インド	ウッタラカンド州山地災害対策プロジェクト 2017年3月～2022年3月	円借款事業「ウッタラカンド州森林資源管理事業」と連携して、山地災害を防止するため治山技術を確立・普及。
	東ティモール	持続可能な天然資源管理能力向上プロジェクトフェーズII 2016年6月～2020年6月	中山間地の貧困農民を対象とした住民参加型の土地利用計画と天然資源管理を実践。
	キルギス	林産品による地方ビジネス開発プロジェクト 2015年11月～2019年10月	共同森林管理活動を通じた林産品ビジネスの振興。
	バブアニューギニア	気候変動対策のためのPNG森林資源情報管理システムの活用に関する能力向上プロジェクト 2014年8月～2019年8月	森林情報の継続的な更新と森林資源情報管理システムの運用及び活用のための関係者の能力強化。
	ソロモン諸島	ソロモン国における持続的森林資源管理能力強化プロジェクト 2017年9月～2022年9月	森林研究省の持続的森林資源管理の促進にかかる能力強化。
中南米	ブラジル	“フィールドミュージアム”構想によるアマゾンの生物多様性保全プロジェクト(※) 2014年7月～2019年7月	生態系を保全する方法を確立するとともに、エコツーリズムなどを通じた地域社会経済の持続的発展を促進。
	ペルー	森林保全及びREDD+メカニズム能力強化プロジェクト 2016年3月～2021年3月	森林保全、REDD+の推進のための国家森林モニタリングシステムの強化など中央政府の能力強化を実施するとともに、地方政府におけるシステムの活用支援を実施。
	ホンジュラス	ラ・ウニオン生物回廊プロジェクト 2016年1月～2021年1月	ラ・ウニオン生物回廊における管理計画の策定、パイロットコミュニティにおける持続的利用・保全計画の実施。これらによる生物回廊管理モデルの確立。
アフリカ	エチオピア	オロミア州リフトバレー地域におけるFFSを通じた持続的自然資源管理プロジェクト 2013年6月～2018年3月	FFS(農業学校)を活用した自然資源管理を支援し、同州半乾燥地域における持続的な自然資源管理のための政策強化。
	エチオピア	REDD+及び付加価値型森林コーヒー生産・販売を通じた持続的な森林管理支援プロジェクト 2014年7月～2020年1月	森林コーヒー認証プログラムとREDD+を通じた参加型森林管理の確立。
	マダガスカル	ムラノクロム総合環境保全・農村開発促進手法開発プロジェクト 2012年2月～2018年3月	森林減少・劣化の結果、植生被覆が乏しい荒地地の土壌保全の機能回復。
	マラウイ	シレ川中流域における農民による流域保全活動推進プロジェクト 2013年4月～2018年3月	森林資源が減少し、農業生産性が低下した地域において、農民による流域保全活動の制度化を支援。
	マラウイ	ザラニヤマ森林保護区の持続的な保全管理プロジェクト 2016年8月～2021年8月	薪炭生産を主な原因として森林減少が加速している、首都リロングエの水源林であるザラニヤマ森林保護区での森林保全。
	SADC(南部アフリカ開発共同体)	南部アフリカ地域持続可能な森林資源管理・保全プロジェクト 2015年6月～2020年6月	地域の森林情報管理、森林火災対策及び参加型森林管理の3分野に関し、森林保全と持続的な森林資源管理を推進するための能力向上。
	COMIFAC(中部アフリカ森林協議会)	COMIFAC諸国における生物多様性保全・利用および気候変動対策促進プロジェクト 2015年8月～2020年8月	森林経営・生物多様性保全等における、COMIFACの能力強化。
ケニア	持続的森林管理のための能力開発プロジェクト 2016年6月～2021年6月	政策支援、カウンティにおけるパイロット事業、REDD+準備支援、林木育種研究、地域協力に係る協力を行うことにより、中央及びカウンティ政府の持続的森林管理のための能力を強化。	
欧州	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	持続的な森林管理を通じた、生態系を活用した防災・減災(ECO-DRR)能力向上プロジェクト 2017年12月～2022年12月	GIS情報システム整備や森林管理計画強化、治山技術導入などを通じ、森林生態系の有する多様な機能を活用した防災・減災(Eco-DRR)のモデル開発を行い、同国の災害リスクの軽減を指向。

注1：平成29(2017)年12月末日現在実施中のものである

2：(※)は、JICA及びJST(科学技術振興機構)を通じた地球規模課題に対応する科学技術協力における森林・林業分野のプロジェクトである。

資料：林野庁業務資料

65 JICAを通じた森林・林業分野の開発計画調査型技術協力事例

地域	国名	案件名	協力期間	協力の内容
アフリカ	コンゴ民主共和国	持続可能な森林経営及びREDDプラス促進のための国家森林モニタリングシステム強化プロジェクト	2012～2017年度	熱帯雨林が広がる北西部において森林資源量を把握する手法を強化。
	ガボン	持続的森林経営に資する国家森林資源インベントリーシステム強化プロジェクト	2012～2017年度	国家森林資源量を把握する手法を強化。
	モザンビーク	REDD+モニタリングのための持続可能な森林資源情報プラットフォーム整備プロジェクト	2012～2017年度	REDD+に必要なとなる森林モニタリングのためのデータベース整備や炭素蓄積量の推定に資する能力強化。
	ボツワナ	国家森林モニタリングシステム強化プロジェクト	2013～2017年度	国家森林モニタリングシステムを活用して定期的に森林モニタリングが実施され、森林の現況が的確に更新される活動を強化。また、このシステムを地方森林局からも利用できるようにするとともに、森林火災対策や参加型森林にも活用する仕組みを支援。

注：平成29(2017)年12月末日現在実施中のものである。

資料：林野庁業務資料

64 森林・林業分野の円借款事例

地域	国名	案件名	交換公文署名日	概要
アジア	インド	ウッタル・プラデシュ州参加型森林資源管理・貧困削減計画	2008/3/10	インド北部ウッタル・プラデシュ州において、植林を通じた住民参加型の森林保全管理及び生計改善活動を行うもの。
		森林管理能力強化・人材育成計画	2008/10/22	インド各州（10州）森林局の森林管理研修内容の改善及び老朽化した施設の改修・建設を通じ、研修体制を改善するもの。
		シッキム州生物多様性保全・森林管理計画	2010/3/29	シッキム州に位置する国立公園及び野生生物保護区の管理能力強化、森林局の活動基盤の強化・整備などを実施するもの。
		タミル・ナド州生物多様性保全・植林計画	2011/2/17	インド南部タミル・ナド州において、繁殖力の強い外来種の除去や在来種の植栽等の生物多様性保全活動、植林活動及び実施機関の組織強化等を行うもの。
		ラジャスタン州植林・生物多様性保全計画（フェーズ2）	2011/6/6	インド北西部ラジャスタン州において、植林活動及び生物多様性保全活動を実施するもの。
		西ベンガル州森林・生物多様性保全計画	2012/3/29	西ベンガル州において 1) 植林、2) 人間と野生動物の接触被害の防止や保護区の生息環境改善、3) 地域開発・生計向上活動及び 4) 実施機関の組織強化等を実施するもの。
		ウッタラカンド州森林資源管理計画	2014/1/27	ウッタラカンド州において、植林活動、地域住民の生計向上活動、防災・災害対策の実施を通じ、植林面積の増大、住民組織の育成、雇用創出を図るもの。
		ナガランド州森林管理計画	2017/3/31	ナガランド州において、移動焼畑耕作地における森林の回復を行い、生計向上手段を提供するもの。
		オディシャ州森林セクター開発計画（フェーズ2）	2017/3/31	オディシャ州（オリッサ州）において、持続的な森林管理、生物多様性保全活動及びコミュニティ開発支援を実施するもの。
		ベトナム	保全林造林・持続的管理計画	2012/3/30
	トルコ	チョルフ川流域保全計画	2011/6/22	トルコ北東部に位置するチョルフ川流域において、住民参加型手法を取り入れた土壌保全、劣化森林の植生回復及び自然災害防止のための事業を支援することにより、流域住民の生計向上を図るもの。
	フィリピン	森林管理計画	2011/9/27	ルソン島及びパナイ島において、住民参加型の森林管理及び生計改善活動（組織化された住民が、苗木栽培、植林、森林の維持管理、小規模ビジネス（農産物や林産物売買、キノコ栽培、林産物加工）等を行うもの）を実施することにより、森林の再生及び地域住民の生計向上を図るもの。
北アフリカ	チュニジア	総合植林計画（Ⅱ）	2008/3/28	チュニジアの5県（ベジャ県、ジェンドゥーバ県、ケフ県、シリアナ県、ザグアン県）において、植林、森林火災対策、地域住民の生計支援等の包括的な森林保全活動を行うことにより、森林再生やその持続的管理、同地域における自然環境改善を図るもの。

注：平成29(2017)年12月末までにE/N締結した現在実施中の案件
資料：林野庁業務資料



67 森林・林業分野の無償資金協力事例

地域	国名	案件名	交換公文署名日	概要
アジア	タイ・カンボジア	メコン森林保護地域の越境生物多様性保全計画（国際熱帯木材機関（ITTO）連携）	2010/10/28	管理計画の改善、人材育成、地域住民の生活改善などを通じて、両国の国境地域の森林減少や森林の劣化の抑制及び生物多様性の保全等を図る。
	ベトナム	森林保全計画	2010/5/27	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
	ラオス	森林資源情報センター整備計画	2010/3/4	森林の減少・劣化の抑制のために必要な森林資源情報センターの建設等を行うもの。
		森林保全計画	2010/3/4	
	東ティモール	森林保全計画	2010/3/15	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
	カンボジア	森林保全計画	2010/3/18	
	インドネシア	森林保全計画	2010/3/18	
	バブアニューギニア	森林保全計画	2010/3/19	
	ネパール	森林保全計画	2010/4/28	
	サモア	森林保全計画	2010/6/29	
タイ	森林保全計画	2010/9/30		
ミャンマー	沿岸部防災機能強化のためのマングローブ植林計画	2012/4/21	洪水やサイクロンによる被害、伐採等で減少したマングローブ林の復旧と、防災機能の向上に貢献。	
アフリカ	ケニア	森林保全計画	2010/3/8	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
	ガーナ	森林保全計画	2010/3/12	
	カメルーン	森林保全計画	2010/3/17	
	ガボン	森林保全計画	2010/3/18	
	エチオピア	森林保全計画	2010/3/18	
	コートジボアール	森林保全計画	2010/4/19	ITTOと協力して、地域住民の生計向上と住民の苗木生産に関する技術、及び持続可能な森林経営に関する能力強化を支援。
	コートジボアール	コミュニティ参加型森林回復計画（国際熱帯木材機関（ITTO）連携）	2013/5/14	
	モザンビーク	森林保全計画	2010/4/28	
	マラウイ	森林保全計画	2010/5/7	
	コンゴ民主共和国	森林保全計画	2010/5/18	
ブルキナファソ	国立水森林学校教育研修能力強化計画	2010/12/2	森林官の育成等を目的とする森林学校の教室及び寄宿舎の増設、研修用機材の整備、情報処理に関する技術支援等を行うもの。	
カメルーン	コンゴ盆地における持続可能な熱帯雨林経営と生物多様性保全のための能力強化計画（国際熱帯木材機関（ITTO）連携）	2012/1/25	コンゴ盆地熱帯雨林の持続可能な経営と生物多様性保全のため、訓練プログラムの策定や必要施設・機材を整備。	
中央アフリカ				
コンゴ共和国				
コンゴ民主共和国				
中南米	コスタリカ	森林保全計画	2010/3/19	森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
	パラグアイ	森林保全計画	2010/5/21	
	ボリビア	森林保全計画	2010/7/5	
	ペルー	森林保全計画	2010/9/17	

注：平成29（2017）年12月末までにE/N締結した案件
資料：外務省ホームページ

国有林野事業

68 国有林野事業における主要事業量

		H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
収穫量 (千㎡)	総数	4,910	5,744	7,763	7,617	7,962	8,085	8,228	8,277
	立木販売	4,212	3,796	4,044	2,250	2,710	2,627	3,223	3,301
	丸太販売	698	1,948	3,720	5,367	5,252	5,458	5,004	4,976
更新面積 (ha)	総数	34,036	11,830	9,984	8,709	9,406	8,183	8,513	9,197
	人工造林	4,592	2,992	5,372	5,083	5,117	3,665	5,745	5,944
	天然更新	29,444	8,838	4,612	3,626	4,289	4,518	2,768	3,253
林道 (km)	新設	99	138	97	420	411	293	175	147
	改良	866	653	958	508	1,077	369	354	353
治山 (百万円)	国有林治山	48,054	20,618	18,470	15,082	14,529	16,016	17,141	18,369
	災害復旧	12,473	24,317	6,858	4,181	16,065	24,165	18,140	13,669

注1：収穫量は、立木材積であり、内部振替並びに分取造林及び分収育林民取分を含む。

2：丸太販売は、丸太を生産した時点で年度区分した。

3：更新面積には、森林災害復旧造林事業費による実行分を含む。

4：人工造林には、新植のほか改植、人工下種を含む。

5：災害復旧は、国有林野内直轄施設災害復旧事業、国有林野内直轄治山災害関連緊急事業及び国有林野内直轄特殊地下壕対策災害関連事業の額である。

6：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料

69 森林生態系保護地域の概要

名称	面積 (千ha)	特徴
日高 山 脈	144	日高側は針葉樹林及び針広混交林、十勝側は広葉樹林であり、中腹以上はダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
漁 岳 周 辺	3	大雪山等道央のエゾマツ・トドマツ林と渡島半島のブナ林との移行地域として重要で、ブナを欠く広葉樹林から針広混交林、さらにはダケカンバ帯に至る
大 雪 山	80	下部のエゾマツ・トドマツの北方針葉樹林からダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
知 床	46	冷温帯汎針広混交林、高山植生、海浜断崖植生
狩 場 山 地 須 築 川 源 流 部	3	下部はブナ天然林の集団としての北限、上部はダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
恐 山 山 地	6	ヒノキアスナロ及びブナ等を中心として土地的・気候的極相を示す冷温帯森林
早 池 峰 山 周 辺	8	ブナ、ヒノキアスナロ等の天然林とアカエゾマツの南限
白 神 山 地	17	ブナを中心とした冷温帯落葉広葉樹林
葛 根 田 川 ・ 玉 川 源 流 部	9	下部はブナ極相林、上部はオオシラビソを主とする天然林
栗 駒 山 ・ 枳 ヶ 森 山 周 辺	16	日本海型から太平洋型への移行帯における優れたブナ林、山頂付近はミヤマナラ、ハイマツの低木混交林
朝 日 山 地	70	低地のブナ～高地のハイマツまで日本海側多雪山地の植生分布
飯 豊 山 周 辺	29	山地帯は広大なブナ林、高山帯には固有種のイデリンドウを始めとする170種に及び多様な高山植物
吾 妻 山 周 辺	12	顕著な亜高山帯針葉樹林とブナ林、シラベの北限
利 根 川 源 流 部 ・ 燧 ヶ 岳 周 辺	20	ブナ、オオシラビソ等の天然林、ミヤマナラ等の多雪地広葉樹低木林
奥 会 津	84	オオシラビソ等の亜高山性針葉樹林、ブナ、ミズナラ林等の冷温帯落葉広葉樹林、コナラ、アカシデ等の中間温帯林により構成
佐 武 流 山 周 辺	13	日本海側の典型的な豪雪地帯のブナ林、亜高山帯はオオシラビソ、シラベ、キタゴヨウの針葉樹林
小 笠 原 諸 島	6	亜熱帯植生、山地にシマホルトノキ、オガサワラグワ等の湿性高木林
南 アルプス 南 部 光 岳	5	ブナ、ミズナラの落葉広葉樹から、ツガ、シラベ、分布の南限であるハイマツ等の垂直分布
中 央 アルプス 木 曾 駒 ヶ 岳	4	日本海型から太平洋型気候の推移帯で、ヒノキ、シラビソ、コメツガ、ハイマツ等の多種多様な植物からなる森林の垂直分布
北 アルプス 金 木 戸 川 ・ 高 瀬 川 源 流 部	8	山地帯のクロベ、亜高山帯のシラビソ、オオシラビソ、ダケカンバ、高山帯のコケモモ、ハイマツ等の本州内陸型の代表的な植生
白 山	15	ブナ、分布の西限であるハイマツ、オオシラビソ等
大 杉 谷	1	スギ、タブ、ブナ、トウヒ等の垂直分布
大 山	3	日本海型ブナ林地域、亜高山帯のダイセンキャラボク群落
石 鎚 山 系	4	暖温帯性のウラジロガシから亜寒帯性のシラベまでの垂直分布
祖 母 山 ・ 傾 山 ・ 大 崩 山 周 辺	6	アカガシ等の常緑広葉樹からツガ、ブナ、ヒメコマツ等の垂直分布
稲 尾 岳 周 辺	1	シイを中心とする暖温帯常緑広葉樹林帯に属し、山頂には一部モミ、ツガが混生
綾	1	樹齢300年以上のイチイガシやイスノキを有し、標高ごとに多種多様な樹木が分布
屋 久 島	15	世界的に稀な高齢ヤクスギ群とヤクシマチシダ等多数の固有種を含むシダ類や豊富な蘚苔類に特徴づけられる植生
西 表 島	20	スダジイの優占する常緑広葉樹林、ガジュマル等の群落、メヒルギ等のマングローブ林
奄 美 群 島	5	主に常緑広葉樹が優占し、まとまった天然林が存在
合 計	655	

注1：平成27(2015)年度の保護林制度改正に伴い保護林区分を再編中のため、平成27年4月1日現在の数値とした。

注2：計の不一致は四捨五入による。

資料：林野庁業務資料



70 平成28(2016)年度に新たに設定した保護林等の概要

	名称 〔所在地〕	面積 (ha)	概要
設定	該当なし		
変更	戸隠生物群集保護林	1,889 (37)	多種多様な野鳥が豊富に生息するとともに、スギ、カラマツの人工林とハルニレ、ヤチダモ、シランカバ、ウラジロモミ等から構成される天然林が分布
	浅間山霧上の松希少個体群保護林	10 (5)	浅間山のふもとにある「霧上の松」として知られた形質・成長ともに優れたアカマツ天然林が分布
	台ヶ峰サワラ希少個体群保護林	7 (3)	木曽谷でも特に優れた典型的なサワラ天然林が分布
合計		1,907 (46)	

注1：()書は、保護林の面積のうち、平成28(2016)年度に変更した面積である。

2：()内の〇は、掲載単位に満たないものを示す。

3：計の不一致は四捨五入による。

4：変更欄には、平成27(2015)年度の保護林制度改正に伴う保護林の区分・名称のみの変更以外で区域拡大が行われたものを掲載。

71 レクリエーションの森の整備状況及び利用者数

区分	箇所数	面積 (千ha)	利用者数(百万人)								代表的なレクリエーションの森 (都道府県)
			H12 年度 (2000)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	
自然休養林	84	98	27	29	26	24	18	18	12	10	高尾山(東京)、赤沢(長野)、 剣山(徳島)、屋久島(鹿児島)
自然観察教育林	148	30	19	13	11	9	8	7	7	6	白神山地・暗門の滝(青森)、 ブナ平(福島)、金華山(岐阜)
風景林	414	170	48	27	49	46	65	64	61	73	えりも(北海道)、芦ノ湖(神奈川)、 嵐山(京都)
森林スポーツ林	52	7	2	1	1	1	1	1	1	1	御池(福島)、滝越(長野)、 扇ノ仙(鳥取)
野外スポーツ地域	183	45	40	32	29	27	25	26	23	23	天狗山(北海道)、裏磐梯デコ平 (福島)、向坂山(宮崎)
風致探勝林	102	21	21	13	12	9	10	9	6	8	温身平(山形)、駒ヶ岳(長野)、 虹ノ松原(佐賀)
合計	983	371	157	116	127	117	127	124	110	122	

注1：箇所数及び面積は平成29(2017)年4月1日現在の数値であり、利用者数は各年度の参考値である。

2：計の不一致は四捨五入による。

資料：農林水産省「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」

72 遊々の森等の箇所数及び面積

		H21年度 (2009)	22 (10)	23 (11)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)
遊々の森	箇所数	162	172	175	173	172	168	165	160
	面積(ha)	7,277	7,219	7,382	7,344	7,232	7,073	7,047	7,006
ふれあいの森	箇所数	132	137	137	140	143	140	137	137
	面積(ha)	3,544	4,325	4,152	4,334	4,229	4,257	4,343	4,406
木の文化を支える森	箇所数	22	22	22	25	23	24	24	25
	面積(ha)	565	565	565	1,617	1,610	1,625	1,625	1,638

注：箇所数及び面積は、各年度末現在の国と実施主体が協定を締結している箇所の数値である。

資料：林野庁業務資料

その他

73 林業等に対する金融機関別の貸付残高

(単位：十億円、%)

		H12年度 (2000)	17 (05)	22 (10)	24 (12)	25 (13)	26 (14)	27 (15)	28 (16)	対前年 増減率(%)
総計	合計	4,659 (100)	3,132 (100)	3,210 (100)	3,083 (100)	3,042 (100)	3,011 (100)	2,975 (100)	2,950 (100)	▲ 1
	一般金融機関	2,931 (63)	1,849 (59)	2,080 (65)	2,015 (65)	2,016 (66)	2,015 (67)	1,997 (67)	1,983 (67)	▲ 1
	系統金融機関	394 (8)	234 (7)	223 (7)	189 (6)	188 (6)	173 (6)	172 (6)	180 (6)	5
	政策金融機関	1,334 (29)	1,049 (33)	907 (28)	879 (29)	838 (28)	823 (27)	807 (27)	787 (27)	▲ 2
林業	小計	1,262 (100)	1,036 (100)	1,513 (100)	1,466 (100)	1,435 (100)	1,437 (100)	1,450 (100)	1,479 (100)	2
	一般金融機関	193 (15)	144 (14)	698 (46)	703 (48)	717 (50)	749 (52)	779 (54)	817 (55)	5
	系統金融機関	93 (7)	48 (5)	68 (4)	43 (3)	42 (3)	31 (2)	36 (2)	47 (3)	31
	政策金融機関	976 (77)	844 (81)	747 (49)	720 (49)	676 (47)	657 (46)	636 (44)	615 (42)	▲ 3
木材・木製品製造業	小計	3,396 (100)	2,096 (100)	1,697 (100)	1,617 (100)	1,608 (100)	1,575 (100)	1,527 (100)	1,471 (100)	▲ 4
	一般金融機関	2,738 (81)	1,705 (81)	1,382 (81)	1,312 (81)	1,299 (81)	1,266 (80)	1,218 (80)	1,166 (79)	▲ 4
	系統金融機関	301 (9)	186 (9)	155 (9)	146 (9)	146 (9)	142 (9)	136 (9)	133 (9)	▲ 2
	政策金融機関	357 (11)	205 (10)	160 (9)	159 (10)	163 (10)	167 (11)	173 (11)	172 (12)	▲ 1

注1：各年度末現在の数値。

2：系統金融機関とは、商工組合中央金庫、農林中央金庫である。

3：政策金融機関とは、日本政策金融公庫、沖縄振興開発金融公庫、日本政策投資銀行である。

4：()は、合計、小計に対する割合。

5：平成21(2009)年度以降の一般金融機関及び系統金融機関の林業欄の数字は、農・林業合計の貸付残高である。

6：平成17(2005)年度以降の政策金融機関には、日本政策投資銀行の貸付残高を含まない。

7：計の不一致は四捨五入による。

資料：一般金融機関は「日本銀行統計」(日本銀行調査統計局)、商工組合中央金庫、農林中央金庫は各金庫の資料、日本政策金融公庫、沖縄振興開発金融公庫は各公庫の資料、日本政策投資銀行は同銀行の資料による。